太平洋問題調査會にて

論議される満洲

日本借款及び請負鐵

朱兩氏の行動を監視

名は頂に連捕され即時続費された

前であるが全く安く

滿洲里方面

再び不安

三日は衝突無し

露域交囘復の

師印を了る

は本日英郷園交 がブライトンの出版先で調印をで したと観察される

「手たる處置を執る決議をなし、陳公博、王法誠、相文「禰東三日遼震」本日の中央常務員會は時局對常協議の

史迭問題協議

の種工場等の密密備

大官屯製油工場の効果を投じて銀工を急

変那戦の治災を与けてあるに過ぎ 戦決には何ら役立たねのみか撃る が決には何ら役立たねのみか撃る

六日まで戦略を除す、終い、 ころよ 『ペルリン会り發電』ス外相が応じた。 享年五十歳、賞 た実験者解釈説教に本日述にドイ地ドイク観楽館に於ては本日歳、賞 た実験者解釈説教に本日述にドイガドイク観楽館に於ては本日より ク酸酸と 『ペルリン会り發電』ス外相が続いている。

失業保険法案

張學夏氏會

撫順製油工場

不戰條約、撒兵問題等

不戦候約の基となって

人な功績

程助を得氏の努力に依つて学

ては繰り駆されない人であつた。 出る事の中来ない地位を築いて行いた。然し此名外交家も國内に於っては、他位を築いて行いた。

事堂で関連とするに決定した

大 闘 単態 送院 健等局の司法 音談は十一時法院、 と 院に 長 て 動 音 の こと に 再 び 要 恵 を 開始した 例 の 改 正 民 事 を 別 に 最 て る の で ある が 今 般 重 要 に 最 で 場 重 で 場 重 値 を 開始した 例 の 改 正 民 事 に 民 官 初 め 今 教 と 一 変 を 開始した 例 の 改 正 民 事 に 民 官 初 め 今 教 と で ま か に 最 で は で ま ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で な と に 民 官 初 め 今 教 と で ま か に 最 で ま か に ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で な か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に ま か に ま か に ま か に ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に 最 で ま か に ま か は放ストレイゼマンが相を六日職 國葬と決定 **興東廳司法會議**

本月末から三日間

百些郡材木所租合一行十

昨朝五時廿分動脈硬化症で

と、又形勢急を告げてゐるを以て南京在治の軍権鳥羽は木日正午継錦巻時へ向け急載しに變はれ婦人子供は日下転符中の軍艦棚に飛騰することとなり、郷は州等聯艦員の収得く力版武軍到れば市中は大混敗に陷ること明かなので人心の動揺其様に遂し在智順人もの財武軍到れば市中は大混敗に陷ること明かなので人心の動揺其様に遂し在智順人もの財武軍員の関係。

反蔣派を斷乎彈壓

中央常務員會にて決議

邦人婦女は軍艦柳に避難

《【ベルリン三日頭電】昨夜ポストレーゼマン外相の病味 住を属ってるたので、それがため、 ツク及びタラウス教授はストレーゼ

果支鐵管理方針

中央移管は具體化せず

同收又は買收等は明言出來ぬ

南京代表陸夢熊氏談

内閣の危機を救ふ為

|ベルリン三日酸電 | ス

一ツの外交政策に影響する。

首謀者即時銃殺

れ來るのも其前掲であると

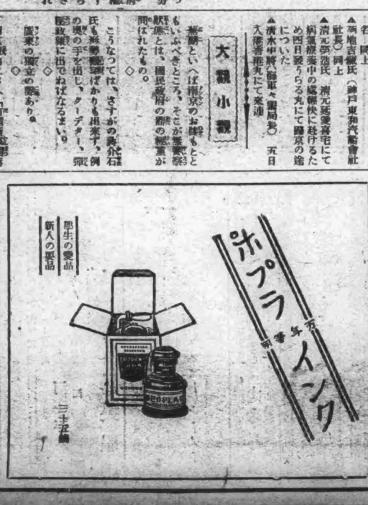
州が全職所

| 「四月夜廿一時大連破」をして画像田城相は六日二十時場離來湖中

松田拓相の

關係は圓過

特許ラヂウム温灸治療系(建一些)







前十時より新娘地士エス本都工式を奉行すると『宮誠の郷歌批繁はその後離れ進行中のところいよく

の造營起工式

あす午前十時から學行さる

地の許可もあつたので明

おだしく毎日 の規模全く動い

ラック、人百米決勝、百米

が三回藩権発験者追悼會は医権の が三回藩権発験者追悼會は医権の

内発験記念碑前にて左の次銀によ

於て華行される事に決定し

鱜殉職者追悼會

次第並に役員額觸決る

いよう

大連運動場で舉行

新皇女御

命

名

0

B

倉宮、高官に

に賜餐

あす宮中千種の間ご豊明殿で

陸上選手權大會 一六日午後一時から 満洲 滿洲硬球選手

左記のプログラムに依り大連選出、 大会はいよく一六月午後一時よ 理論理會を乗れた全補陸上選手。 大会はいよく一六月午後一時よ 光投、女子砲丸投、赤福跳、女子走高跳 大会はいよく一六月午後一時よ 一人大月午後一時よ 一人下 (全部決物)砲 一人下 (全部決物)砲 一人下 (全部決物)砲

の高役成は李貴、青木建築眼長以下敷田村、竹中各部長、貝瀬鞴音、田村、竹中各部長、貝瀬鞴音、田村、竹中各部長、貝瀬鞴音、田村、竹中各部長、貝瀬鞴音、田村、竹中各部長、貝瀬鞴音、 表、奉天鑑道事為所代表。 ★沿風社員代表 庶為都全公尚代 表記





株式

會社を組織

タクシーに對抗

市内十數軒の支那人營業者が

愈よ近く實現せん

堂宇建立費蒐めに 六十翁の行脚

李天鄉道事務所々管の即、檢 李天樂道事為所代表、大連 武員代表 庶務都会公所代

のんさ佛大

一信講副會長の安部龜良氏 方支那人能は何等の組織もなく各がこれに繋む日本人性際ですべつよるるがこれに繋む日本人性際で有は合意を組織してこれが利力は各種を関めてあるのに反し、一

不買同盟を畫策

國民黨員が反蔣記事に憤慨

加賀町の火事

八經營漢字紙

因縁も深い北海道



不質同思が實行されるかどうか

負傷殉職 **今春來既に八名** 漸く馬匪城集團の分散期に入い の警察官

物縣な關東州內外

標準さ継属にす間たは 総件れを一数る係の例 報をた以版でと広路で内 便自動ルト能登町六四看物通近藍 の路上に於て智野町二八大連郵便 の路上に於て智野町二八大連郵便 の路上に於て智野町二八大連郵便

科書

提 協 四話 満 横角五 =

叉も交通事故 大連市役所の継続による市際谷市場中突縮下地脈の概当は既報市場中突縮下地脈の概当は既報市場立分程度の値下を配行することに決定したので近月中谷市場

型に戦略ロースは『首して品種 対然するが中書局では高数を歌 一及びロース

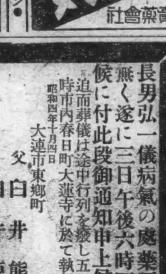
きのふ一件を出す

損害を受けた

関語学者 日午後六時死去被致候に付此 留社取締役日非弘一殿十月三

市役所が懸命に折衝中 大野市駅の電子では、100mmのでは、100mmのでは、100mmでは、 共一所に改正値段により費出す





各市場とも近日中に

いよく、牛肉の値下

ロースはもつとまけろと



其儘 生活を 見 事さ

機能一千萬勝)を競行すること。 中第二四期等金階間指輪製造家(のとなったので翻取職行では十月 のとなったので翻取職行では十月 一等三千届以下多戦の部帯を附す 一等三千届以下多戦の部帯を附す 一方をおります。

けふの秋晴れに

小國民の韋駄天

賑った小學校の運動會

世一日から賣出

一等三千届以下多項の標準を附す のを翻辞像松千冊で費出し、金載 した場合は配面二十冊を像通し且 した場合は配面二十冊の6

出來上つ た少年圏生活狀況室

日本橋女成績品展準備及る。 大学を以て創立二十周年を220へた 日本橋小野校中等駅校等の出品 に市内各小野校中等駅校等の出品 に市内各小野校中等駅校等の出品 に市内各小野校中等駅校等の出品 に市内各小野校中等駅校等の出品 に市内各小野校中等駅校等の出品 に市内各小野校中等駅校等の出品 で、全部が個別技費ではない。 日本橋の四家は青海教育技術家、参加 が一年駅間の考案になつたもので寫版 が一年駅間の考案になったもので寫版 が出来上った、出 の知く少年駅の等下入網。その中野部 をの中少年駅と新で大網。その中野部 をの中少年駅と新で大網。その中野部 が別が出来上った、出 の知く少年駅のキャンナ生活の實 側を が目のあたりに見るやうに配出 がはまとして記載する。 で、全部が個別技費ではない。 く作られてある。 をの中の年間ではない。 の知く少年駅のキャンナ生活の實 側を のに見るやうに配出 のに見るやうに配出 のに見るやうに配出 のに見るやうに配出 のに見るやうに配出 のに見るやうに配出 のに見ると のにと のに見ると のにしる のにしる

一部中にはす 年職員の考案になったもので為試 い様の運動機がで何れも四十年 年職とで成がけることとなった。 常識には 「一般、我付けることとなった。 常識に 「一般、我付けることとなった。 常識に 「一般、我付けることとなった。 常識に 「一般、我们、大きでは、 「一般、我们、大きの影響に 大きの影響に 大きの影響に 大きの影響に 大きの影響に 大きの影響に 大きの影響に 大きの影響に 大きの影響 といよ 安部氏は 音本六十三歳の老響がが との無確負の数との影響を表す。 「お姉さましつかり」な は 大きといってるるが、 場所続だ 大きの影響 を立義も といた 第一般、我们、大きないが、 第一般、我们、大きないが、 第一般、我们、大きないが、 第一般、大きないが、 第一般、大きないが、 第一般、大きないが、 第一般、大きないが、 第一般、大きないが、 第一般、大きないが、 第一般、大きないが、 第一般 では、 第一般、大きないが、 第一般 では、 第一般 では、

は四日から各摩部とも後期の侵 謝近火御見舞 海近火御見舞 大連帯 製質 一商

謝近火御見舞 治師で御旅行の事は 松樂 局

一 のでも御利用下さい

阁下の追悼會相營候間御参拜相成度此本願寺に於て故男爵陸軍大將田中義一本願寺に於て故男爵陸軍大將田中義一本原子月五日(土曜日)午後五時半若草山西

小也 花環縦ばら屋花環店

カフェ

話七九七五番鳥町歌舞伎座右摘

大連電機 照所 大連市 機 照所 謝近火御見舞 今般左配の者不都合の 留分の間租品進星 新、規 開 店員 十 河 平 古代の行為あり頭今一切關係無之候に付職任候也 大選若狹町二〇三 保吳服店

謝近火御見舞 小型 ルス会社

型東印畫大連支部 類燒御見舞

大型 -ただます。

鑑き たまる

、それには成可く外 しかし、こ

を買ふのであるが其實入額 なに代金決項のほめ着甲市 のはの着甲市

涯申相場の建方 手関係以外に於て護申相場と告 接なる關係を有する二、三の事 情を強べて見渡い

入商筋の活動

申市場

に就て

G.¥ 83.59

100,90

三井銀行出張所長

対外排筒的を 動の立場から見れば相當打製は 動れないが、満洲全體から云へ

を以て概して死年作を強烈して を以て概して死年作を強烈して るとは、月初健烈水の響を動りた もでは、月初健烈水の響を動りた ものでは、月初健烈水の響を動りた ものでは、月初健烈水の響を動りた ものでは、月初健烈水の響を動りた ものでは、月初健烈水の響を動りた ものでは、月初健烈水の響を動りた ものでは、月初健烈水の響を動りた

山本。先づ

銀市場万面は、銀方面はどう

影響は大して恐るべきものは

放達を割する所以であらう たであると共に在補網商の側の によってあると共に在補網商の側の 所郷及び配置能率の増進、 要だ、即ち合理的の節約、 要だ、即ち合理的の節約、 所帯の観市場は圏のフラクテイションが主なる原因で駆いてあるから、解禁後一番打撃を受けるのは我々鎌紗築者だ、即ち大連市場は上海標金の歩みで繋々襲

南溝の作 大體に於て平年作 況

滯納者が

一九二〇

飼料雜穀類の

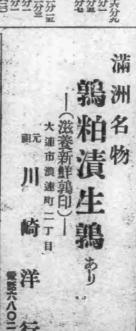
運賃復舊を陳情

阪神の取引業者より陳情す

支沿線穀物旬未在貨(顯紫順)









手形交換高(四 日) ・ 一手形交換高(四 日) ・ 一大小の一大小の一大の一大の一まで画際銀行ほか外銀行の一まで画際銀行ほか外銀行の一大分の七から二分の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一まで画際銀行ほか外銀行の一まで画際銀行ほか外銀行の一まで画際銀行ほか外銀行の一まで画際銀行ほか外銀行の一まで画際銀行ほか外銀行の一まで画際銀行ほかりに下押し安値志野水の一まで、一手形交換に高く四、一手形を換き高く四、日)

電局を誘動し同機概念の時間を行 も之に呼嘘し四日制要應及び減嫌 も之に呼嘘し四日制要應及び減嫌 を必に呼嘘し四日制要應及び減嫌 魚市場の

任務協議 大個税された戦力

東京四日設電」井上瀬相富田連 「大津島水和宮の住物につき重要国際を設 「大津島水和宮は来る二十日温波 「大津島水和宮は来る二十日温波 満蒙牛の 樺太進山

は悪なししては をなり一頭につき約銀を が飲むした。 が飲むした。 が飲むした。 が飲むした。 が飲むした。 が飲むした。 で誘動した。 でで誘動した。 でで誘動した。 でで誘動した。 でで誘動した。 でで誘動した。 でで誘動した。 でである。 なった。 しては一次ででには、 ののでには、 ののででには、 ののででには、 ののでには

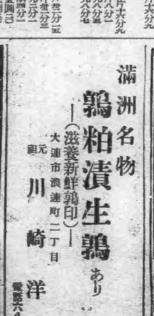
等 特 產 产 產 場日

四三二一<u>十</u>十 月月月月月月

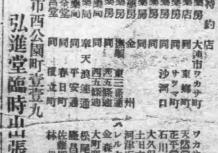
市

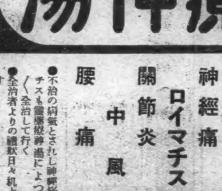














消 界 と對策四

て貿易虎を改めるの外はあるま

相場の入電も載じて市場は閑社の入電では常市場の歩み取りは 物付で取扱が出来る位のものだ と想像されるから今日のやうな 出來高は類様することは出來な に何か他の上場物件を増すか何 に何か他の上場物件を増すか何 に可か他の上場物件を増すか何

水産會 問題 る 高 田 氏 開 東 感 を 訪問

水産館は収締役高田友吉氏は四日 地の水産館合併地脈に吹き塩々脈 説する所あつた

中における鮮内能入の外國鹽 八月 中における鮮内能入の外國盟は釜 一千二百國で戸敷は例年同期と略 一千二百國で戸敷は例年同期と略

九月手形交換高

公費徵收 成績不良公費徵收

海員慰安事業に寄附

平

安

(129

會時場時 **华**券二国 青星

なのからに張ってあるのである。 一文八尺綱線入りの編纂は、こ 一文八尺綱線入りの編纂は、こ の様代の山数と捕更とない結いで

英國巡洋艦サツフオーク號 音樂劇團演奏會

現のあへぎを、相手の呼吸に魅ず一特に三越鵬民語作曲に関作が多いめられて、近に死生の境に立つた。は作曲並は保端家とじて有名で、たであららのが無明の間に治りこ。 衆且参楽監督の棚底、農井清水氏をであららのが無明の間に治りこ。 衆且参楽監督の棚底、農井清水氏をであららのが無明の間に治りことが、

貴金屬學作

大豐

村洋行行

大連

33

洋行

さわやかな

秋の半ゑり

篠間久枝の 聖室室 明夜協和會館で

魯新入

を之助は、相手の呼吸が酸々 を之助は、相手の呼吸が酸々 が近してくるのを知った。 こんだ時に引之助 い▲久しく噂に上つて居たトーキーの人しく噂に上つて居たれてほしたい。ことの時によってほした。ことのは、これのでは、これ

実然!職を破る一味」と相手の呼吸をはかる。

ない。 一学であるが▲『忠 かがざして二百三高地へ突入す』 を示ふのは

「無中であるが▲『忠 をであるが▲『忠 をであるが▲『忠 をであるが▲『忠 をであるが▲『忠

Dag!

所謂お腹の掃除に

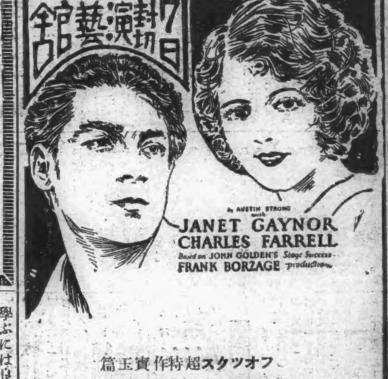
当泉双変 現場大陸川二四大等

なるきんや本作 特價 票本 字 店

高尚な頭飾品

界淵 9 文星,他,脚,脚,脚, 於用手五門家庭用 现 大連市岩 山陽木テ **E田**町

荷品 ▶ふ乞命用御す荷入數多記上◀ ぶには良校を撰 新學期開始一月一日 大連市北大山通十四 日華自動車學校 (電話二一〇六一番)



督監氏ジザーボ・ケンラフ



主

灣小門

۴

食傷に **** る下

痢と腹痛 VC 版字是10km 版字友古的店 OFFIL CASO

活動の秋 近代人の感能に伴奏す 健康は能率の **味質に舞踏し** 增進元 9



000000000000000

る系身の煙能が新活動やなす縁めであります。
別な抵抗力が全身に充實し體内に特別の新精力を緩顕があるのであります。之れは要するにドラゴンの 個

五八十粒入 金四眼五拾錢

各地特約店募集

粹澳<mark>與极高</mark> 與與双米致

補血强壯精力增進 資人

角町城外一五一町連携市連大 元賞發総デー州副

化された

獨特の本文

全

總總

論 (从文)

2

4 3

關東北部及與羽 東京及その附近

6 5

近

及四

に之を推撃する次第である

敢て大方の清鑑を待つ。

此種出版物には多大の經驗を有するもの

現品を手にされた何人も首肯する事と確信する。乞ふ刮目して待たれよ!最高限度を實現すべく努力せる本篇が如何に驚異すべき内容を有するかは、一度何村、佐藤各教授、石原、佐々木麻學士其他各執筆者が現代に於ける出版的理想の半歳の日子と莫大の經費さを費し、小川、脇水、石橋、喜田各博士、田中子侯、今野、半歳の日子と莫大の經費さを費し、小川、脇水、石橋、喜田各博士、田中子侯、今野、 一俗大系」中込者全部に洩れなし

2

立木

上監修の大地圖

り分賣人

錦町一ノ一九東京市神田區

の印刷見本を添附せる堂々三十他各執筆者の『東海地方篇』本文 內容見本 121 臺灣及南

110 9 8

海道及棒

解説を試みんこするもので、學界權威者を網羅せる編輯委員諸氏と、その推及の地理學は我等に「如何にして此奇観を呈するに至つたか。以此都市は何故に此處に發達し將來はどうなるか。其他產業に風俗にそのの地理學は我等に「如何にして」と「何故」こを要求する。即ち此處に一の山質の列擧、單なる寫眞の羅列のみを以て能事こする舊式地理學の時代は過ぎ 衣食住、風俗習慣は勿論、山川、湖海、都市、田園、、従來漫然ごして眺めてゐたに過ぎない我國獨特の吸影せる寫真と相俟ち、現代日本のあるが儘の姿こそ 来るを覺ゆるのである 者この墨 生の努力に の經驗を有するもの、これ我等が十二分の自信曩に我等は「世界地理風俗大系」全廿四卷刊行、嘗て我等の體驗しなかつた地理學的興味は新 湖海、都市、田園、建築等に至るまであるが儘の姿こその由つて來る所を活 文さ、

介地理風俗大系,姉妹篇として之を捧

普通學生團體の部一 利 茶代廢止大勉 屋 大連信禮句 聞 0 はの 電話四七六七番







大阪屋號書

東井上書詩の作り 東京書詩の作り 東京書景の作り 大震選集の 東京書景の作り 一次登書祭 副は書籍月夜の牡

經過と内部の 原を附し租界外に誘き出し逮捕する各 を費消者として逮捕を脱離しても を費消者として逮捕を脱離しても を費消者として逮捕を脱離しても を費消者として逮捕を脱離しても され が概要は既に依り逮捕する外途に無 であるにより であるになが でいるとなが でいるなが でいなが でいるなが でいるなが でいるなが でいるなが でいるなが でいるなが でいるなが でいるが でいるなが でいるなが でいるが 現狀

廣西各機關

封鎖さる

政友會後任總裁は

十日以内に選擧に決定

張學良氏別邸の

特実を張った 特定を張った 特定を張った 特定を張った

園招待 国招待官領事

最高幹部會

邦字新聞全部を邦字新聞全部を

上海着

百美の他がになって あると

勞農外交部

税金は職入洋海にも及ぼす管で近

化大日午支三時多量官民に迎へらは大日午支三時多量官民に迎へら

職歌等反素各派協議の結果職態、関東、賈西、丁爾、即有、取有、即相、改組派、西山會國の運動は人月下旬より九月上旬にかけて新版西派の敵作稻が中心となり種版西派、改組派、西山會《土海特體画日歌》南支那に烽火をあげた反素運動事前の越過及び内部の現狀は左の如くである。今 四十十七十年・地場、廣西季明職、骨州毛光郷、裏南長駅職等右原町四十十七十年・地場、「東西季明職、骨州毛光郷、裏南長駅職等右原町で、東京の商業の結果職選、慶東、廣西、江西、湖南、裏南、東州の一大丁の職等の結果職選、慶東、廣西、江西、湖南、裏南、東州の

奉軍慰問金

として十萬元を競送した旨電報を 原庭氏に就し東北流護軍の 静間費の 静間費

川田 信した で歴史を狭すべく申合せて九時版 のる。との希望に一致し更に近く曾合し

政友總裁後任

と園公の意

でなりも 後は 200 では 100 では

▲那須皓氏(東大衆授) 四日二十時三十分來連星ケ浦ヤマトホテルへ ・ 本子、 ・ 本一、 ・ 一 、 ・ 本一、 ・ 本一 、 ・ 本 一 、 本 一 、 本 一 、 本 一 、 本 一 、 本 一 、 本 一

電東京四日愛電」政友會緊急最高 一、東京四日愛電」政友會緊急最高 一、東京四日愛電」政友會緊急是高

推薦か

会は露頭を支那線に使人せしめる で交渉が有利に解決が可能なる場合は露頭を支那線に長近端原態度をとり本 のより更に関境方面に増兵領備中 で交渉が有利に解決が可能なる場合 で交渉が有利に解決が可能なる場合

勞農國境に増兵

强硬態度を持す

事に大打撃を興へぬ限り發展困難である。と反素派に属する実氏は蓄つた 事が程氏に大打撃を興へぬ限り發展困難である。と反素派に属する実氏は蓄つた 事が程氏に大打撃を興へぬ限り發展困難である。と反素派に属する実氏は蓄つた 事が程氏に大打撃を興へぬ限り發展困難である。と反素派に属する実氏は蓄つた

舊廣西派に對して 共同討蔣を勸告 陳氏第二次宣言發表

電明した 電明した 電明した 電明した 電明した 電明した 電明した 電子の知き承載をなった事なき旨 に右の知き承載をなった事なき旨 に右の知き承載をなった事なき旨

明年度の豫

【長春神電四日後】松田振相は四日午前十時長春映社に参拝し候事 能第三十八職隊を巡眺し長春城内 を一端、ホテルに置り正午より官 と一端、ホテルに置り正午より官 には騰上大要左の如き演説を試み た

て侵略的の目的を含んではなら な、在網邦人の發展は衷心欄つ な、在網邦人の發展は衷心欄つ がはいといふ意味ではない、在 に置かず飽くまで編力で逃進す を意気があつて欲しい、殊に長 を意気があつて欲しい、殊に長 を意気があつて欲しい、殊に長

天 で故郷熱の初七日の法要を置む事 は明五日午前十時より築地本願寺 は明五日午前十時より築地本願寺

故田中義一男

十六億圓臺

新規容認は四

千萬圓の見當

鐵嶺事件の

調査交渉か目的

赴奉する周龍光氏

大藏省

で編成協議

承認せぬ

列能して後継続機関軍につき意見を引き継続抵職。久原房之助氏も柴部は三日午後六時晩素町に例會

日支親善を圖り

獨力で邁進せよ

よりの二百五十名の外内地の産業社の世界を開合中央部よりは急事佐藤寛治氏と、総務洲よりは関係者を開発組合長四十名の外内地の産業

能金騰組合大会の出席者は の開日京城内に於て開催される全 の開日京城内に於て開催される全 の開日京城内に於て開催される全

長春有志の歡迎會席上で

松田拓相希望を述ぶ

意見 交換

總裁問也の

かつたと

全鮮金組大會

前職の確子に矢印の相、乗用の自動車の

方向表示標を見て

「東京四日發電」小笠原長院(位は 「東京四日發電」小笠原長院(位は 「日京都に園公を訪問して三日夜 事も超對に話してないとの事であり ない事も公の意中の人性能など と云ふ事も判らめ譯だ

を交換したがと共に政界の人気の良い總裁をと共に政界の人気の良い總裁をとれて東大な時機であるから成るべく薫内の一致結束と共に政界の人気の良い總裁を

王氏言明

第分石討伐に努力せよと動告してある ・神観四日歌』陳公博氏は三日香港にて第二次蔣介石討伐寅言を優表し同時に藩廣西派は共同二・ ・神観四日歌』陳公博氏は三日香港にて第二次蔣介石討伐寅言を優表し同時に藩廣西派は共同二・ 任應岐、孫階元兩軍が ボリー四日登成』ドイッ外相ストレーゼマン氏の長逝は従来氏がドイッ親著方紙で進んで来た場保 からフランス一戦の心からの観点 からフランス一戦の心からの観点 と裏筒を以つて迎へられて居る政 と裏筒を以つて迎へられて居る政 と裏筒を以つて迎へられて居る政 と裏筒を以つて迎へられて居る政 と裏筒を以つて迎へられて居る政 と裏筒を以つて迎へられて居る政

佛國監視

獨の外交を

【上海特徴四日發】何成落氏は5 清浦沿線で策動す 何氏から蔣氏に報告 より蔣介石氏に宛て祭四十九師長佐藤鉄は陳藤元部下現除元と

「東京四日發電」明年度表現協成に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現協成に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現版に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現版に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現機成に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現機成に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現機のに対応に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現版に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現版に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現版に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現版に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「東京四日發電」明年度表現に関し大戦省では四日午前十時より省議を開催、井上報刊、小心、「

今回頭鮮、満洲の旅行に際して ・ 本語の本葉はこの二方面からの親 ・ 本語の本葉はこの二方面からの親 ・ 本語の本葉はこの一方面が ・ であるが研究上最も置要なる地域 ・ であるが研究上最も ・ であるが ・ からの親 ・ であるが ・ からの親 ・ であるが ・ からの親 ・ であるが ・ からの親 ・ であるが ・ であるが ・ からの親 ・ であるが ・ であるが ・ であるが ・ からの親 ・ であるが ・ であるが ・ であるが ・ であるが ・ であるが ・ からの ・ であるが ・

名し即浦線燈線にて反叛運動を陰謀しつよありとの情報

南京に特別成嚴令

日支條約改訂交渉と

南京政府の苦肉策

痛し痒しの排日に據る牽制策

反蔣派は妨害運動

中心とする一版の地位は最もステールとする一版の地位を提供を出版的にも除着を生めた。
「氏および其の一要な機を担づに、
「大智人の不安の一切が除去される
「氏および其の一級たる戦器を生物では
「大名」であらうことは
「他で動きな機を担づに
「大名」でする
「大名

て既存代版が代地にて事を擧げ 名を派遣し南京の際領に常らしめ 所は反動分子に繋じて非常に戦成上事神體四日を 十月十日を期 会態。武輝氏に繋し至急軍隊三千 富彦厚になつて来たばめか國民政 反蔣各派の策動に備ふ 【天津四面日愛】 反素素分が相 では谷園租業に整伏する反動派に 非常手段で、逮捕 澎州する事にしたが公安尉の報告 をそう質命した るやら気命した

日支條約交渉は 來八日から開始

王正廷の自見に大く第二大会議の 一種千里に運ばんとするが 内は訂交渉の初館合せをなすが、 対議の悪魔となすべく要求 利は訂交渉の初館合せをなすが、 対議の悪魔となすべく要求 が改訂交渉の初館合せをなすが、 対議の悪魔となすべく要求 南京政府の交渉方針

を中止して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別でもの場所をしては先づ日本にとつて知何に重大ないことであるが、一方院職が改正、でもの見地から、転に、ことであるが、一方院職がでも、大ないことであるが、一方院職がでも、大ないことであるが、一方院職がでも、大ない。日支を勝ちるを勝ちるを勝ちるを勝ちるをいる。また、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉の総別を設定して、日支交渉のといるというには、100円のは

ではあり得ない。

條約変態をプラ機丁ためのそれ

し されば霧外石氏およびその一版に とってはどうしても鮮的或前を自 たってはどうしても鮮的或前を自 たってはどうしても鮮的或前を自 カカル 一方度著名版にとっては現他都版 をして確静間版を を放せしめるが、 セして確静間版を を放せしめるが、 セして確静間版を を放せしめるが、 として確静間版を を放せしめるが、 として確静間版を を放せしめるが、 として確静間版を を放けます。

高のでは、 ののでは、 のでは、 でいる。 は、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

ちなこ

は順民政府自身にとっても自信が は順民政府自身にとっても自信が り込むにしても保護に多数の改組派が入 人を炒くより消にの動の改組派が入 人を炒くより消に先づ我身にとでは は、できればもし関民政府がうか とない。さればもし関民政府がうか。 大を炒くより消に先づ我身に火が は、なければならない。ない。ない。ない。

日鉄を添ふ本日廳報及廳報

【北平特電回日報】本日正午水平。 を表示。同氏社等の任務は緩緩等 哈爾賓まで行くことはなからうと ちるが、同氏社等の任務は緩緩等 哈爾賓まで行くことはなからうと 株を調査し且つこれにつき交渉が みられてある。

定期後場。日本的 第行高額安徽大引 第行高額安徽大引 現物後場。個百四十七萬國 現物後場。個百四十七萬國 現物後場。個百四十七萬國 現物後場。個百四十七萬國 日本高場近。個百四十七萬國 日本高場近。個百四十七萬國 日本高場對金、銀對岸。金對洋 1110

九〇〇

格子 いまれは何だい」との 「横別の交通機関は内地より遊かるのに用るると聞き なのに用るると聞き

▲養職寺園記、岡本一兩氏(萬朝 報補鮮觀察員)去る二日支那事 情研究の爲めららる丸にて來連 花屋ホテル投宿中のところ四日 本社來訪

三週間の豫定を

としなつた。 定をもつて東上する。

太田長官上京十六日に出發十六日大連出版のうらる丸の来る十六日大連出版のうらる丸のたる十六日大連出版のうらる丸のたる土大田大連出版のうらる丸のでである。

皆口一

力

カラーが

中

溢れてゐるのを喜ぶ

の気分或は感覺の表現を大 である。田舎(大 であるのである。田舎(大 である。田舎(大 である。田舎(大

関とを特定して反動の整頭とを特定したとあって対と困憊、苛飲と誘求、

俯洲寫眞美術展評

と寄せた國民革命、南北区動が伴ふ。澎湃として

撫順における松田拓相

一日炭礦ホテル前の肥念撮影

それに何事にも、館

南にあつては赤化的であり、馮淵 方人の北方に選れ」の大同順結とらにあつては策略的、しかしなが ならんとしつ」あるのではあるまら、一般の北方人には、期せずし いか。この氣速が、果して如何の ことは、否定すべからざる事質で の具體的事質を伸はね南北統一、 なくとも南方人の南北統一といふ を協約的に分析し、事質に反する を協りにも抽象的なりとの結論に開 たとに對し、北方人の、事質に反する を協りにも抽象的なりとの結論に開 ととに對し、北方人の思想なり、腐情な ところといへ得る。支那は依然 なくとも南方人の南北統一といふ を協りにも抽象的なりとの結論に開 ととに對し、北方人の思想なり、腐情な との現實主義的頭腦に期牙を して五千年來の支那であり、南 たとに對し、北方人の思想なり、感情な ところといへ得る。支那は依然 なくとも南方人の南北統一といふ を関して五千年來の支那であり、南 たとに對し、北方人の思想なり、感情な と して五千年來の支那であり、南 たとに對し、北方人の思想なり、感情な と して五千年來の支那であり、南 たとに對し、北方人の思想なり、感情な と して五千年來の支那であり、南 たくとも南方人の思想なり、感情な と して五千年來の支那であり、南 たくとも南方人の思想なり、感情な と 愛したことを認識せざるを得ぬ であらう。

計量に就

あると

廳の羊頭

政府と民衆の 接近に努む

自分は殆ど太原的りに居つて職務 『天津殿』新任の内政部長楊兆 り入津し天津軍政各界の重要人 士の敷迎を受け河東の寓居に入 つたが、氏は兩三日滞津し各方 面観察の上にて南下する豫定で ある、氏の抱負の一端は次の如 なである 楊內政部長の抱負 北京天津さ

地方代政長官をして實任を以て之なる、故に内政部の重要職責は全なる、故に内政部の重要職責は全を前提として法令章程を公布し、 本地方實情を知る事は困難であっ を禁選せなんだ既で中央は一 を全く接近せなんだ既で中央は一 と全く接近せなんだ既で中央は一 **展得する事が出來なんでも渋合有事は不可能であり、民衆が利益を事は不可能であり、民衆が利益を** て如何にするが可なるか知る事が

出來ない。故に各縣は一の自治院出來ない。故に各縣は一の自治院

も各地に實行する事は出来ない。 鑛山を採掘 利權を回收

利機の提回を膨りその管現を期かります。 「本達抄しないので今回左の如き間で を進めつゝあるが、一向この間で でで東北各地の機能を採掘し でで東北各地の機能を採掘し

【京城曼】全鮮商業會議所よりの に於ける新嚢州商業會議所よりの に終ける新嚢州商業會議所限合金 拓鐵敷設促進

閑院宮様より

社會事業獎勵金

各道の團體に下賜さる

電路に出版するやう二日招電を設 会議を製氏に繁し来る十月十日の 会議を製氏に繁し来る十月十日の 見趣記念日における親質式に参列 し更に式終了後露園に繋する打合 京城に於ける

東京城辺 院院宮殿下より荒磯郡 (京城辺 院院宮殿下より荒磯郡 (京城辺 院院宮殿下より荒磯郡 を として 多 () であるが、荒巌郷智は一日 () として 多 () を であるが、荒巌郷智は一日 () であるが、高巌郷智は一日 () であるが、高巌郷智は一日 () であるが、高巌郷智士 () であるが、高藤郷智士 () であるが、高藤郷智士 () であるが、高藤郷智士 () であるが、高藤郷智雄士 () であるが、高藤郷智雄士 () であるが、高藤郷智雄士 () であるが、高藤郷祖士 () であるが、高藤郷祖士 () であるが、高藤郷祖知士 () であるが、高藤郷祖知祖知士 () であるが、高藤郷祖知祖知士 () であるが、高藤郷祖知士 () であるが、高藤郷祖知士 () であるが、高藤郷祖和祖知士 () であるが、高藤郷祖知士 () であるが、高藤郷祖知士 () であるが、高藤郷祖知士 () でんが、高藤郷祖知士 () であるが、高藤郷祖和祖知祖

大 宣々たる作品だ、パックの山田 立つのではないか、題に角影のではないか、現に角影のではないか、現に角影のではないか、現に角影のではないか、現に角影のではないか、現に角影のではないか、現に角影の一方のではないか、現に角影の一方のではないか、現に角影の一方のではないか、現に角影が表記ではないか。現に角影と思ふ、さすれば今一段響が近点に乗りがある。

事各二人其他合計廿三人であると 事会二人其他合計廿三人であると 事会二人其他合計廿三人であると 駅検定の関東州に於ける豫備試験で部省第五十一回中等限校設員試 教員檢定の受験者

中秋 無月 詩 夷 中古 常館町 品

織日

大護 猫遊犬セパード 漁速町二丁目 河野小鳥店 提灯、和傘問屋、膨脹堂大連岩水水蔵一電七七一四番 1 二五〇脚平修理濟 二五〇脚四三〇間 一次連続出現投資多數有申込金元群用規模 多數有申込金元群用規模 多數有申込金元群用規模 多數有申込金元群用規模 多數有申込 三五電六六六三大連案内配の事なら實質金融共信用の事なら實質金融共信用のある三別町の 品親切木位質受 史イ惟キ

中乳 なら大正牧場 中勢町入九電七七七二、九四八四 一手 ロバン 電話七六八五 一手 ロバン 電話七六八五 中乳 大連中乳株式會社 会市屋市豊王山前 会帰堂 名古屋市豊王山前 会帰堂 急帰堂

古野町二六 一萬営電七八五九 市野町二六 一萬営電七八五九 中学 邦文タイプライター印書 郷帯電八四七一 リ 別語 日本保近) 吉 野 號 日本保近) 吉 野 號 ゴム印の御用命は

西迪三五電六六三大連案內社 等勤業復興貿貨金融 日藤町たじまや電六六〇一番 電話八二〇三 日陰町

中央の法令
中央の法令
中央の法令
中央の法令
中央の法令
中央の法令
中央の法令
中の實験に見るに購入の立脈な縣
は其難政が懸験し人民は生活の膨
には法令を出しても全く實験が
には法令を出しても全く實験が
になった。
には、一人人民は生活の膨
には、一人人民は生活の膨
には、一人人民は生活の膨
には、一人人民は生活の膨
になるを出しても全く實験が
になった。
にな 私は一昨年内地から大連に赴任 がから後の實際とが餘りに差がある。 がから後の實際とが餘りに差がある。 がから後の實際とが餘りに差がある。 で居るのは四十五週で宿舎料と つて居るのは四十五週で宿舎料と つて居るのは四十五週で宿舎料と こて変給されて居る額は二十週で となん。 を割だが私が今散宿して家質を拂 いるる。百圓ばかりの取入の内から となん。 役に立たない、縣長の人選は縣政

る、而して民衆と常に接近するの質量を駆ぐる重要なる條件で

では山西の質量に依り前越部長在 では山西の質量に依り前越部長在 では山西の質量に依り前越部長在 では、現村政脈は膨に縣組織法中 でた、現村政脈は膨に縣組織法中

軍費流用反對 救國基金の

遼寧農鑛廳の計畫 に勤し右の旨通電した上今日まで の被害者氏名を至急報告せよと命 のの命令で救國基金軍費に献上に は大反對である 『天津夢』此歴中央政府より各省 政府及特別市政府に對し取費に必 政府及特別市政府に對し取費に必 に中央黨部は强硬に之に反對し数 に中央黨部は强硬に之に反對し数 に中央黨部は强硬に之に反對し数 に中央黨部は强硬に之に反對し数 者し飽くまで電費にするなれば零 者し飽くまで電費にするなれば零 う被害者に返還する方が民意に合 有漢 編見智二名募集夜間通學 本人來談 編速町 標村洋行 本人來談 編速町 標村洋行 東京區館招聘

朝日廣場 旭亭 電三四五三 四五三

社員 招聘固定給安給

不用

若陝町

佐順市敦賀町 カフェ ・ なん入用收入多し

順市敦賀町

市敦賀町カフェー木村さん敷名入用海、連町では五三

流言蜚語を取締る故田中男に對する

邦文

電子でである。 「日各分局長に命じたと 一日各分局長に命じたと 一日各分局長に命じたと 國慶記念閱兵

に王似哲氏副総指揮官に任命され 電日支那側では北大鷲に於て國際 電日支那側では北大鷲に於て國際 電影響歌教育長はその總指揮官 であるが、王 記念問兵式を行ふ等であるが、王 記念問兵式を行ふ等であるが、王 **英語** 自 動 動

英文養成並應印書寄宿舎有英文を対する大学の大学の大学を対する。 邦文 タイピスト短期鏖成 負 クサ 及り選の特別場所根本要別

在し人遊 林毒 七小 療治御好みの方は 性學丸炎 鍼灸

貸間 獨身者動人の方に貸し

貸間

大量一間海身の動人 恵比須町九 海

電話四六二九番

電子 金融月二歩八掛以上名奏 西通三五電六六六三大連案内社 関連を開催話申込金便利 はかる 電六六六三 **▶** 用 品高價買入れ御報次第3 **薬**及治療

小店 員入用機 下内入船町 方内入船町 方内入船町 方内入船町 方内入船町 方内入船町 方内入船町 方崎が倉石炭部 大連雲油株式舎社 大連雲油株式舎社 イグミ書籍部 電六三二一 大州二十二番迄の方本人 女で 出来る店気具店文具店カ 人来談 電五五五七 正直洋行にき めた 電五五五七 正直洋行にき めた 電五五五七 正直洋行にき アラウム 高質質受 イワキ町 新古懶 電七四三五イワキ町 新古懶 電七四三五 高質質受 イワキ町 新古懶 電七四三五

好評嘖々中於

き文學

あ

き時代は

質際の生活者は下級者程基しい、 対任三四級の所になれば悪く堂々 ければ宿舎料の定額の三四倍もか ければ宿舎料の定額の三四倍もか が無観されてあては陽東腿は辛頭 を掲げて狗肉を賣ると云ふても過 言ではあるまい

満日窯内 市內但與可三〇 本

をよいと思ふのかも知れないがそれは誤まつた考へである、深州はと違ぶて非常な不健康地である、端州は アタ がいまる いまれないがそ

影響するのである、以上の不滿とのみならず退職後の恩給率にまで

足を来すのである。し

常経構際干山開電四三六二間線下の節は何李御用命

小鳥 納島具類一式 漁速町 戶田洋行電三九〇三番 シンガーミシンは常軽機 頭痛ピノーシン

一番 ラヂ きず

常盤橋河島ミシン店電六六八四 門永洋行

内山手町一七二ノ六

露國社會の大變遷さ祖父、 に始り大革命に終つた最近 の世紀の間に農奴解放 まるよ 格の持主を生んだテルタモ 新 台 後の翁の長篇中最も優れた を暗示す IJ: (附)ゴ 八回配本 本土等

四卷內容見本進星 本一条農國立出版所書、最高権威サ敦氏の全集の金集の

の作。 の作。 の作。 の作。 配

この藝術品は生れた。革命 ーノフ一家の歴史を材料に

貸衣 奥斯薩用

衣

師

係と除りにも異つた性 ーリキイ評傳

目下配本中

長岡義夫

回配本

大村田山巻歌祭官総造所数官が今央に難してるた。わが満州歌祭界。

が併し氏だけは越えて四十三年歌る近ぐ入れ代り又集立つて行つた

僧に昇進したきり二十

明治州九年の転三月常時の被職・ で果職した職家二十餘年数型所に部長となった。 を設定した職家二十餘年数型所に部長となった。 を設定した職家二十餘年数型所に部長となった。 を設定した職家二十餘年数型所に部長となった。 を設定した職家二十餘年数型所は を設定した氏は の時代的数型を概能。 の時代的数型を使用。 の時代的数型を使用。 の時代的数型を概能。 の時代的数型を使用。 の時代的。 の

おないはあでは、じてなかった、 氏の彩出になる柔が照用の施服術 であるか、微格なるその訓練が如 であるか、微格なるその訓練が如 も満洲製作に貯成果を生みつしる も満洲製作に貯成果を生みつしる。 は氏の手に依つて今

0

したが人畜以は傷害はなかつた 一百年後一時半得勝豪卿を致した 一百年後一時半得勝豪卿を致した

當か落か

けふ決まる運命

猛烈だつた地委選擧

る數で現れるかは投票総切たる午、概者の最後の批判が何人に如何なれる中壁校に於ける四千有餘の有

既長の開票宣言後邀事立會人た

渡邊寬一、中原祥光

春に招じ張宴した は三日夜六時在率新 は三日夜六時在率新

時在率新聞記者を洞庭

尺八演奏大會

三日朝安

被のばち等

三日來率 三日

限調通入江奥服店及び輸 から銘値、宮庭機、三数から銘値、宮庭機、三数 を窃取してゐた富士町漁 所會の運轄手助手宮田久 所會の運轄手助手宮田久 所會の運轄手助手宮田久 所の登場である後は此の外

谷

二回目は十月十一日迄 第一回目は十月六

総人員数 一團體二十名乃 間に連結す、案內者は瞬員 間に連結す、案內者は瞬員

東大館大邦祭郡第五回秋季尺八瀬常高等小駅校開覧に於て開催されることになったがその曲目は左れることになったがその曲目は左れることになったがその曲目は左へ段の調、様式、新日本曲小鳥の歌樂、楓の花、新日本曲小鳥の歌樂、楓の花、新日本曲小鳥の歌樂、楓の花、新日本曲小鳥の歌樂、楓の花、新日本曲秋の歌、山田流日之摩、新日本曲秋の歌、週川

安東へ 協會員一行十三名

濟部長 三日朝

競走、ガルヒ ポテト

おいて各摩主催で募集するこ
出線の朝博見物感は今回鑼道 沿線各驛で募集

禹年警部補と云はれた

滿洲警察界

の名物

警官教育に終始して二十餘年

た村田さん

0

んじ、浦州館一の萬年製部補を以

だが氏の萬年歌部神は決して手腕

▲中谷鍋東圖警務局長 三日過奉 =

前衆議院讚長一行四名 車内に茶色洋服一着任中の小型トーコ日午後七時五分漕安薬線の下り

二日午後五時五分頃市内岩松町十 一日午後五時五分頃市内岩松町十 一日で窓に作業工場一概、倉庫二概 して窓に作業工場一概、倉庫二概 を練き削削脈の活動により際くと あるが原因については目下取職中他機械等を合して一萬五千餘圓で他機械等を合して一萬五千餘圓で他機械等を合して一萬五千餘圓で

時四十分頃蓮山闢附近で線にて朝鮮に向ふ途中二主人の金品を物取無斷家生れ、西塔一丁目朴和享生れ、西塔一丁目朴和享 に於て友人知己を招じ張宴する平吉氏は八日午後六時から金籠亭平吉氏は八日午後六時から金籠亭下秋の御大典に富り産業の功勢者

松田拓相下車

が散在してゐる

理東直、渡邊第一、中原祥光、大 では判らない要するに総則は本日午 は判らない要するに総則は本日午 後十時が至十一時鳴判明すべく悪 を大きない要するに総則は本日午

一會盛況 というにありたる三日午

カフて今日を迎へた氏は決してそ うではなかつた、萬年歌部補にて うではなかつた、萬年歌部補にて もあれ氏、努力は今日その手を収

政見發表演說

一方又型を優性にして育んだ子女 東、三男は工場一年長女は厳し夫女が小歌三年生等皆夫べの遺を が小歌三年生等皆夫べの遺を が小歌三年生等皆夫べの遺を が小歌三年生等皆夫べの遺を をうぞ多年の苦節報いられて融管の氏は たも又豪庭的にも平和と歌喜に充 にも又豪庭的にも平和と歌喜に充

0

歌部住官の職めも受けたがその か歌部住官の間世よりも大事な子 女の教育その出世が大事とでごふ 女の教育その出世が大事とでごふ 女の教育を発れ飽くまで萬年

かくて今回の退官に當り氏は初め で繋部に昇進した、繋が神伝官以 で繋部に昇進した、繋が神伝官以 を実質に十九半振りである、依然た る小官の発官――それは離しもが をからない。

花は最に客まの配でた髪で時 中谷繁務局長は三日十七時五分來。
曹陽顕、伊原正金、小川滿新社長其 ・ 大原正金、小川滿新社長其 ・ 大原正金、小川滿新社長其 ・ 大原正金、小川滿新社長其 ・ 大原正金、小川滿新社長其 ・ 大原正金、小川滿新社長其 中谷警務局長

明日流る後の上の夕凉み 明日流る後の上の夕凉み 明風に鳴きひろごれる蛙哉 不 見はるかす白馬は照りて夏小雨 が 見 名月や野岸の灯のうすらぎし とびく、に夏木立ある曠野哉 子 とびく、に夏木立ある曠野哉 子

走高跳山崎(一米七大)満洲の配中の肥緑を破る 中の肥緑を破る

同主催の下に同大臣の動迎の 日来数する事となったのでは のでに同大臣の動迎の

動館総を長く

の方針に吹いて 間へ被乗する 間が 音楽に終て 脳時役員 動を 関き今後 音楽に終て 脳時役員 動を 関き今後

六六七五八 00000

・ 一 四 四 四 中 五 ア カイ 十 五 ア ス・ナー

秋季大终 の賑ひ

の如く、老務男女のそよろがきするもの多く全市の人は皆お祭り気

氣に人出が多く

個白さんを札屋の一句かな つ ゑ 女

雄枕の地から出たり

村雪解跡

累

N

相敷や泊り状克の夕

アリナレの見ゆる銅山の櫻哉 康 朝

黄班六二點、白班三四點、青班 の通りである

記録を破つた選手は左の二名であ した。独者日歌山中學校及精州の した。独者日歌山中學校及精州の

での勢揚ひ 乘馬俱樂部遠乘 會 寫眞は長春輝前 以下官民二十餘名の伺候を 総成したるが、何よりも朱 連絡地方事務所長より機構 連絡地方事務所長より機構 官長二十

長春

(四)

奉

天

八會議長

編集連動協會主催A組カタア事態では一個の大変をは一個の大変を表現した。 をででした。 をででした。 をででは、 をでできる。 をでできる。 をでできる。 をでできる。 をでできる。 をでできる。 をでできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をでをでをできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 非常な

遷宮祭遙拜式

機關區記念日

歌陽在郷軍人分會では六日午前八 中家族の餘興等あり盛況であった 中家族の餘興等あり盛況であった 中家族の餘興等あり盛況であった

四

尾崎、

川兩氏が有

を表しれた業天地方委員の改選期 を終り夫々離離れも決定したので を終り夫々離離合せを行ふ筈であ なが、其際一般が最も注測してゐ るが、其際一般が最も注測してゐ るが、其際一般が最も注測してゐ るが、其際一般が最も注測してゐ

時、第二日朝七時十分京城着市一、「鬼第一日率大肆發宇前九一、「鬼第一日率大肆發宇前九一、「鬼第一日率大肆發宇前九一、「鬼」等の「鬼」等の「鬼」をいる。

、辨富、入場料一切

月十日、同十五

谷第山 2 四

四

回酿

0

の映画並に開催された三笠保存會 を下での基金票集に着手し近く各家 医に壁金袋を配付する筈であるが の映画並に津留海軍大佐の鰐濱依 では壁金袋を配付する筈であるが であるが 三笠保存寄附募集

愈よ

本のは 本のは 本の間を 本の間を 本の間を の間に の間に の間に の間に の間に のが のが に大さい のが に大さい のが に大さい のが に大さい のが につきで のが にの にったで のが にったで にった

落端離ふて出て來る水を胸に帰れ 水 風 水 大寺の書うで、東州 大寺の書うで、東州 大寺の書うで、東州 摂窓一葉柱に延び出 明やまだ高から四水の音 野浜やいつの間にや

所などろ日挽く馬は官なり 原と進へる三美橋や夏木立 原と進へる三美橋や夏木立 梨 女 一根 なり の後より 竹田の たり 崖 第一回戦に實業A勝つ

現職を呼ぶ職のあり

閉會したが、各班の得職成績は左 大會は三日午前九時より同校々継 に於て奉行され窓祝護に午後三時 に於て奉行され窓祝護に午後三時

長春家庭研究會は最に婦人順體の **龍潭山紅** 些 **狩**

の管 順るよく温酸よく人を激きつい 人であると語う。 人であると語う。 多しく映画 一退頗る興味ある大概戦を減けれ 軍の決職となり、午後

大陸戦を減じた

を数山方面に出動した を数山方面に出動した を数山方面に出動した

慰安車來る

豆粕界は閑散

班優勝した

守備隊の

聯合演習

中谷敷か局長は飯島敷部を随へ窓が列車で東流は日午前八時四十分を利車で来流同日午前十一時破列車で東流同日午前十一時破列を開入地で開発した

答歌新聞景は歐島歌部を雕へ歌警務局長巡視

前海金剛を断光し、十日十九時十二年の登記は四日午後金剛山長安寺

開

金二十五錢

無職に於ける神宮式年御鑑宮盛禄 者は山西炭職長、久保大長、中野 者は山西炭職長、久保大長、中野 等官民多数の愛列あり心司の修蔵 等官民多数の愛列あり心司の修蔵 等官民多数の愛列あり心司の修蔵 等官民多数の愛列あり心司の修蔵 等官民多数の愛列あり心司の修蔵 で表して至 が変勢。ありて、 で表して至 が変が、 は二日午後七時二十分より無順 では、 の変が、 では、 のので、 では、 のので、 でいるので、 のので、 のので 體育デー

鎭江山臨濟寺に

東

本 中乳販賣の鴨江牧場は今回乳牛十年乳販賣の鴨江牧場は今回乳牛・ 場立には歸安の豫定で、現在市場 場立には歸安の豫定で、現在市場 には完成するので大々的に飛躪を には完成するので大々的に飛躪を

俳句大額を獻納

彼岸の中日を期して

松茸や重く冠りし枯松紫

各學校の競技

にして出句者の吟詠は左の如くで 地であったが、此程數成したるを りて様の後常の中日を瀕し目出度 以て様の後常の中日を瀕し目出度 というであったが、此程數成したるを が、此程數成したるを が、此程數成したるを

関丁の機木包む小春設 類ケ 寺の萩静けさに來る雀哉

金剛山へ出發朝日附属祭の機句ひけり

楠 平安北道では発婆及び君禮婦の試 ※で試験場所は道衛生課及び江界 等で試験場所は道衛生課及び江界 が山東道立醫院の三個所で志願者 は本月十八日迄に顕書を最寄書祭 は本月十八日迄に顕書を最寄書祭 場を細由して平安北道警察部衞生 際に提出すべしと

火蓋を切つた スポンヂ野球會 機田 統相 一行は神殿清極理事其他 を行列軍にて書開度に を行列軍にて書開度に を行列軍にて書開度に を行列軍にて書開度に を行列軍にて書開度に を持力が を持力が を持力が を持つする。 を表しません。 を表しません。 はのでは を表しません。 にのでは にので にのでは にのでは にのでは にのでは にのでは にのでは にのでは にのでは にのでは にのでは

東る十月四日から八日本で五日間 は、「東京医研究」の主機の毛 は、「東京医研究」の主機の毛 は、「東京医研究」の主機の毛 は、「東京医研究」の主機の毛

自一個術の神智と素大在職構作四月まで三日間社会保主催で自一性の別なで三日間社会保主催で自 だと

中一个警務局長中谷鴨和県は三日四時六分駅十六列車にて雷戦通過南行せるが前田巡査の高いでは、東海の一部を前田登長に託し順具せりと

市内を一巡観祭し八日十大時四十一一十時五十五分職長、直ちに時間

長春設、音界、青秋順線を動脈、四到龍した田原板務省書記官は本松田板相と同行三月午後九時長春

始め所員十餘名は三日同地に出張 委員選等のため川崎地方事務所長

松田拓相通過

高級のでは、 一個のでは、 一面では、 一面で、 一面で、

金長春野球電乳十三名は本年最後の野荒戦たる全京城軍との統合に殴いベイ本月十二日軍長帝襄戦戦に向ふー行十三名

京城に遠征

職職地方事か所内に設けられたタイピスト業成所は九月末日を以って無五回等変生を出したが、新学生は在野生十二名中一名病類の内一名は長春散寒野に動かすることとなったが他は今崎鼓殿口がた。 教師矢野女史は匿る 日年年本業生は在野中既に大都分したことか一名しか試職日本ません。 男校側でも各方面に紹介して福力口を探してるますが折角 でもなったがってすから活用させて 頂きたいものです

スポンヂ野球、大ポンヂ野球

タイピスト 賣れ口が悪い

十五分長帯設同日午後入時五十元 分階長すると

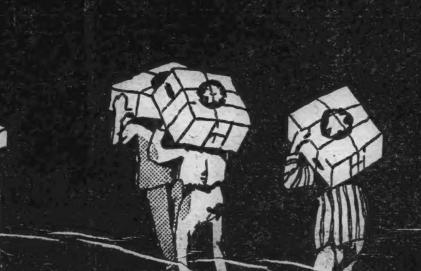
を奉行すること」なった。七日さら戦俗説の名所能歌山の証券符合をある。

原

威風堂々

茲に花々しく冬の全國市場昭和四年十月―福助足袋は

へ出陣いたします。



ミセノウ

7

ダガ =

2

ドウシテ

好機再び來らず

日メ

迪市

*店

フシギノ

センカ

るので、使夫はとても、お母さん

一報三個八十嶋もす

に買つて下さいとは言へなかつた

んなに辛い思ひをしたか知れない

つて来ましたので試日

生はから言ふと使夫は紫外館し 優等生にならなけりや の面りに、先生の處へ寄つて

つきりした返事が非常に盛しく聴

H

ひがんでゐたので少しも先生にな ましたが、使夫は、心がすつかり つきませんでした。然し先生は、 くなりません。先生は心脈にな 上野君、君、これから毎日、學 親切に散へいたわつてやりま いふ機子を見れば見る を握つて考へて居り

ますっそれで

本や瞬面を、目茶苦茶にしまひ込

利応でする

に便利な式があつたね。あの想服 である。何か三角形の画物を出す 時は先生が概から を使へばすぐに出來るし も落ち着かないで、解らなさらな と言ひますのすると、 俊夫の心は

家を出ました。

むとよろくした足どりで先生の

と計算を始めますの の公式が思ひ出されて、スライ 落ちついて来て、今日智つた計り 「先生四八平方米突です」

物の重さ

引力によって

いろり

ト髪る

しぎな

べると小さく月の上では地球の上

飛しそうた後夫の顔にも可愛らします。からいふ様に出來る日は、 によって生ずるものであることは ましたで駆検で理科をならつてる ましたで駆校で理科をならつてる をいるいでであることを知り のいることを知り

るく に 題るものでありまして 若ろく に 題るものでありまして 若 能さになります。です のいろくに選ふ他の星の世界で重さになります。ですから大きさ つまり物の軍さは引力によって と、一貫知のものは二貫目の のではありません。 一向平気 であつたのが、 急に鉛をからだにつけたやうに重 こともできなくなつてしまふでせ くなつて思ふやうに手足を配かす うのいやく恐らく立つてゐるこ たと假定すると地球の上では手足

物の目方 は決して能に一

目方がその髭の大さによって襲っ はかつたとしますと同じものでも 地球の上 行した場合の話ですが、今度は地 とすらできず。べたりとへたばつ

と太脳の上では地球 月の世界 に旅行したとし 其の時はお母さんもお父さんも と太脳の上とを 球よりずつと小さい した。 丰 ホンヲ ヨンデキマス ホンラ

(六)

俊夫は、成績がよくなりました。 所が或日、三つ出された問題が、

いて渡しますの後天はじつと総部 明日まで必らず若へておけ」先生は、からして、帳面に隣を書 『上野、今日は之で晒れ。そ 腕ろしさにふるへてるました。 けました。使夫は鮮色を興いて、 朝から繋があつて、頭が縦くて、 くしやくしてあたので、つい、 あわて出しました。その日先生は いくら考へても出來ず、俊夫は又 うつかりと、ひどく俊夫を叱りつ 「上野、今日は之で聞れ。それは

五

殊に嬉しかつたのは、みんなが持夫はたいへん感しく思ひましたが

ってゐるのと同じ、立脈な手工道

を一種質つて眠いたことでした

新らしい洋殿を指て、新らしい和。

れ等はみんな、吉田先生が買つ

下さつたものでありました。使

の薄い夏殿の代りに、温かさらな型と日、撃枝へ来た俊夫は、今迄

い美ひが見えるのです。先生はそ の笑館が自分の事の様に盛しくて

オデサンハ

大チャン

ノタンケン

(113)

ル

ミチ作

9

ラ

ウ雷

オヂサンハ

テッパウ

「ダレガツ!」

コエデ

イモノガ タッテキルヤウデス

大チヤ ウニ

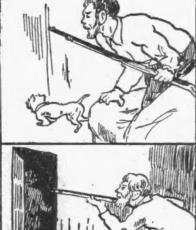
が勝

す

和

四

トニ ピラクリシテ メ 4かんかん!





面白いお天氣の見方

◇朝虹が出るとその日の中に扇が降ります。今方虹がでると明日くる日は霞か雨。雨の日なら明日は天氣。はる日は霞か雨。雨の日なら明日は天氣が襲ります。晴れた日ならる障子にかけのぼつたりするとお天氣が襲ります。晴れた日ならる ◇龍が思ひ出したやらに、にはかにおへやの中をかけまはつたり やうな見方で明日のお天気を考へると中々よくあたります。 下駄を放りなげて占なったお天氣は中々あたらないが文に書いた

◇朝憩けが紫色なら其の日に雨が降ります。遠足は見合せた方が◇夕鷹の窓が黄色ならば明日はお天氣。くろずんであれば隅ですはお天氣です。

◇月のかさが大きければ雨が近く小さければ二、三日の中に雨が たらどうでせらっ月は地球にくら

ひます。つまり地球の上で六貫の けで、からだが六分の一だけ融く での軍さの六分の一になつてしま トルの高さを飛ぶことの出来る人 なるのだから走り高飛びでーメー へがたつた一貫になつて それがすむとおいのりがあり

を 上にあるときの二十七倍だけ取く なりますから一貫目のものは急に の 二十七覧の取ざになるわけです。 とすればその人は太陽の上では二 から私どもが著し太陽の上では二 から私どもが著し太陽の上に行つ さな家の屋根に飛び上る位は何で 艘の六倍の四十八艘飛べることに養軽が月の世界に行つたならば入 です。皆壇の浦で八艘飛びをした 思ひ切りジャンプをやつたらど なります。 飛び上る だから普通の人でも小 ことが出來るの した。

かなしい一 兒童の作品 大廣場校四年 貞雄 H

なに愉快でせられた。

八月五日はわえさんのめい日で明 キヂャガラム ノナイノ

僅か三国でこの大全集か揃ひます

にはなみだがらるんでるま それからお母さんんが

「おきやく裸の前に出たらごあいさつをするのですよ」とおつしゃったので、僕は前に出ると大きなこえで「いらつしゃいました」とごあいさつをしました。すると由が先生もすましてあらつしゃいましたが、きらにおわらひになりま

かんかんかんと七時のかねが

を思ひ出してるました。 僕は其の時心にはわえさんの 一とう始めにさんびかをう

僕はきとう館の時ほんとうに ち食は九時半頃すみましたが、 はねえさんの一番すきな「主 つぎは先生のお話があって、 もとに」をうたひました。

ねえさんはどんなにおよろこびに しくてかなしくてたまりませ かなな

なったでせらっ 僕は大工道具をお母さんに買ても 大工道具 大廣場小學校 久保泰三 年

その時はとてもられしかつた。侯 は鞭を作つた。上手には出来なか。 つたがようやく仕上げた。それか ち本立てを作り始めた。がもう少 しで出来上る所で木がわれてしま の所に置いてねた。朝日をさましてあけて見ると皆よくきれさらにしてある。カンナなどはちよつとしてある。カンナなどはちよつとでさはつてもされさらにしてゐる。侯は其の時とてもくくれしかつた。それから敷枝からかべって又聚枝に行つて手工をした。よくきれるくくとでもよくきれた。 らった。僕は大よろこびで持つて

テラシマシタ。

体裁も一段と上品に風雅にし、良い本を御提供致します。一個など、講技術を集の観光で商台いことは雨全集以上・ 一家中楽しめる笑の實庫 愉快の大王! 其の上安い本・

到るところ 非常な評判

同砂工業會社製

ラギオ

信用トシテ最モ高評ナ

新。來。 落語器

幹滿總代理店

進

許

最常な考謝を確たもので、時代に適か、三語様の三節をはじめ、一流大家

日本生粹の滑稽文學大全集!

0 命 兒

型行流向度年四和昭 百 聞 見 皆さんの梅本が くべき良品腰衝、質に革命的適品を砂度年の御愛顧に報ゆる一端としまして比定 十命靴現る 七七六價



東洋で 形はない。 一・分にて乗り が、れにつかず を変しく

へ連軍好機を逸して

八艦軍見事

第二囘日英ラゴ

へは是が非でも出場するといふれば別として率天で行ふ競技 あれば別として率天で行ふ競技 あれば別として率天で行ふ競技

辻强盗犯人逮捕され

上に

去る三日夜水師營に潜伏中

が殺犯檢擧近づく

そのうちの一人である

水上署にも

公判に 附せらる

大子 月 前 各線を 通じて 運動 で 単 の で 単 が で 単 散 に 一 度 も な か っ 成 で 単 も な か っ 成 で 単 も な か っ 成 で 単 も な か っ 成 で 単 な か っ 成 で 単 な か っ 成 で 単 な か っ 成 で 単 な か っ 成 で 単 な か っ 成 三百六十十口片

概を見れば運航後定十六萬百 ・ 依客職送を開始して以外各級

競した事はないと云ふ百パーセットの 競した事はないと云ふ百パーセットの の現成器である。約半ケ年の成 きすら見れば日本の航空路も次第 とこれである。約半ケ年の成 出 とこれである。約半ケ年の成 出 とこれである。約半ケ年の成 出 とこれである。約半ケ年の成 出 とこれである。約半ケ年の成 出 とこれである。約半ケ年の成 出 とこれである。

シェベー 日神解終間別奏罪として公・他を襲つた設策が恣闘を持ちた助へのを襲った設策が恣闘を持ちた助へのをしている。

第二次の活動に入った 東に関へ連携者について契方配に 第二次の活動に入った

石油

コ

口

に就

故出中政友會

战の御

雪辱の意氣に 燃え猛練習 學生聯合軍を遊へる

全滿柔道軍

渝洲總代理店

奉天

富

大連 市

小林秀二郎高

→店

店約

榊塚方木陽阪山

商支商洋商商商洋支

店店店行行店會行 店

今夕協和會語で講演

| 「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」。 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

がに国科教研教者追悼者は昨夕刊 所報の八号午前十時補機協和館流 にて関係すると云ふのである。實 にて関係すると云ふのである。實 に工関係すると云ふのである。實 が自己迎へ等もありかたが一時

網子よりは致中の果彼は としては四日午後三時前

家の不幸 日井朗吉 を支配して居み因の時代は一大時光亡、同氏は大時光亡、同氏は

葬

吉田

安員長 妻

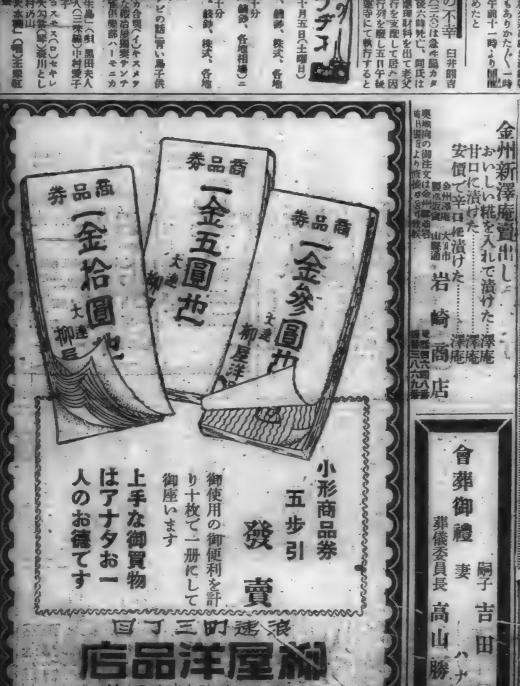
きのふ盛儀を極めた大連署

| 出版の早い三人男| 出版の早い三人男| 出版で解析では、二十三位で解析で、四十六統で東にある・略

の他大連四層の



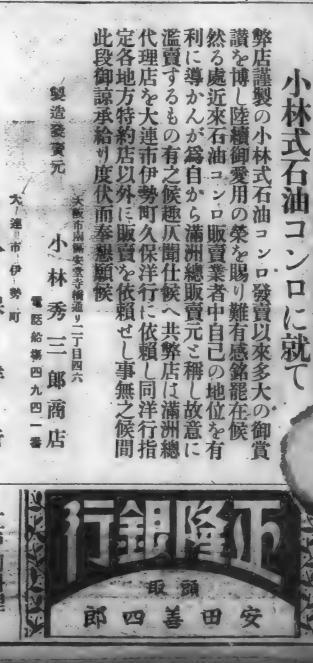
所言· 66 数、株式、各地



作廣二ツ (編サージ) 三十二 国 均 圖 生活の改善は先づ服装から 秋山 商會洋服部 多服御用意の季節に際し平價を破つて ◎ 英

檔 **通車電町液信市連大** 番九五八四話電

正宗 (AHT) 金元十4



実のひらに断字銀く勝み取しれ 手のひらに断字銀く勝み取しれ

ではしましまし

の第一様ない様性素 大丈夫かね、黒川さんり苦

(食物の味な人に迸滅せぬのは)

おするのの療法は無例にする

酸をして見楽ることは出來なかしかしそれと無付いたのを知ら

君こんな場合だからブル、スピー

「……水ー水を……下さい!」 くやうに云つて、もう色の塗って くやうに云つて、もう色の塗って

下翔、腹端には、秋の胃臓疾患と

8經道文

大阪市大河流 水田 福建合資金社 近天大阪コニ大の港

し持つて下さいまあう少し

藥

命の田

(120)

(A)

してるないで君も手を鋭たまへすかしおい、運搬形式!ほんやり

動へる靴で振いた。

侵てしまった美知子の鍵を発起し と、黒田は地面にくたく\と笑

「百」 島原陸足足選奏大夫の會へ育・勝取 満州 坊 獲取 本の一貫の 一貫・ 勝取 満州 坊 乗取 本の一貫 乗取 満州 坊 東京 連 美 本人な部なかつた筈の官割 滿日柳塘

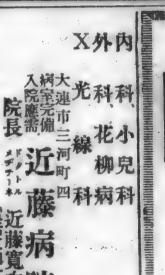
上げます!」と、黒田は少年減公 の方へ離を向けた。「おい、 M公 お前も手供へよ!」

を見の危険は 三、四十まで

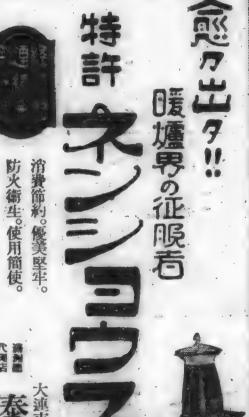
3

して 一般ないでは、一般などのでは、 (上ステリー曲の縦はどうしたら治るか) (子歌劇の特徴は即例) (子歌劇の特徴は即例) (子歌劇の特徴は即例) (子歌劇の特徴は即例) (子歌劇の特徴は可能) (子歌劇の特徴は可能) (子歌劇の神経はどうした 年曜セロ…… 手曜セロ…… 子達を達者に 御母さまの 無一e家庭





肺病、 正真 11







城有限公司 日育島、香、廣

● 大連汽船

生殖器障碍

泌尿器

性病粉香

辨天堂出風呂崎

後町二五種大穴八八ッサージあんぶく

井上醫院

天建浪送町一丁四

田田

滿洲里方面

は之がため再び戦人就人としてる。あつたが二日には議會の重大問題があるが全く安心してゐた市民 マン外相は一日來風邪引躍り中で那軍は財技回。 兵二十名餘戰死し

再び不安

英、露國交囘復の

調印を了る

電を執る決議をなり、陳公博、王法蔵、樹文爵其他の魘膨鯰襲事覚旣に職選より國民政府 要賞】本日の中央常務員會は時局勢管協議の結果飽くまで現政府を支持し改組派に誅して

中央常務員會にて決議

朱兩氏の行動を監視

の策軍は塹壕を築いて防備

更迭問題協議か

張學夏氏會

数を投じて竣工を急い 保につき調査するため委員会 撫順製油工場

場、分離工場等の踏 九百萬曜の耳

支那戦の欲笑をうけてゐるに過ぎ、歌決には何ら役立たぬのみか響の歌失には何ら役立たぬのみか響の歌をとらぬ限り武支紛爭の軍事行動をとらぬ限り武支紛爭の

場、分離工場等の路影開も大半完大官屯製油工場の欧溜油、飛溜工大官屯製油工場の欧溜油、飛溜工 本月末操業

ーデン氏は目下金融と工業との関 信中の劈伽紫年大大倉で蔵相スノ

大戦後に残した

偉大な功績

欧洲政界 に大きな 心とする歐洲外交■係に最▲重大【ベルリン三日發電】ドイツを中 イッ外相ス さた複数を

の合成となり其後は同時も製画を 地里型を抱いてみたが今年間民業 山思烈を抱いてみたが今年間民業 の合成となり其後は同時も製画を かりンに生れ少時から革命的な自 の合成となり其後は同時も製画を はれ機會政治家の間では政 【ベルリン三日愛電】ドイツ政府 | 事堂で関都とするに決定した

國葬と決定

ロカルノ(統約の統総に成功し、之 ルーカルノ(統約の統総に成功し、之 れ 職後の欧洲の経濟復興は北に氏と職後の彼の功労でなければならぬ 歐州第一流の外交家としたのは、関に飾つた、ストレーゼマン氏 回除に及び何時も市功を收めて母イッ代表として州席すること二十

關東廳司法會議

本月末から三日間

ると、又形勢気を告げてあるを以て雨京在泊の電艦鳥羽は本日正午挑縮無跡へ向け急続した安に繋はれ婦人子供は目下統治中の軍艦線に避職すること」なり、柳は此等動性民の松紫戦窟中でる場合力観武戦到れば市中は大混乱に隠ること明かなので人心の動揺其根に塗し在留邦人も甚だしき不順東三日愛電」官造入電に依れば無駄無となつた無跡に在る方策戦は、方振武軍に比し兵力道かに

反蔣派を斷乎彈壓

邦人婦女は軍艦柳に避難

一般なり歌の手に放めた、全安局長(方無武形)は、過時くも逃亡し市内無数線となった。 一田を全て日下無湖た 目指して進軍中で、蘇聯に在る方領域は右の報に 田田の方領政刑職に難し昨日夕州ノーデノーを、近行し、全安局巡職一千名の武装を解験 田田の方領政刑職に難し昨日夕州ノーデノーを、近行し、全安局巡職一千名の武装を解験 一田を全て日下無湖た 目指して進軍中で、蘇聯に在る方領域は右の報に 一世 五千の兵力となり楊子

・蔵を病つてるたので、それがため卒中の酸作を起したも 「ベルリン三日發電」昨夜深ストレーゼマン外相の病味 「ベルリン三日發電」昨夜深ストレーゼマン外相の病味 昨朝五時廿分動脈硬化症で

は三日午前十時間會職器は三日午前十時間會職器は三日午前十時間會職器

國事に奔走

内閣の危機を救ふ為

する直前まで

省はス外相の拡張時間を三日午前【ベルリン三日發電】ドイラ外務 外交政策

同收又は買收等は明言出來ぬ

南京代表陸夢熊氏談

イツの外交政策に影響 定

を握り東北政閥と別箇のものにす を握り東北政閥と別箇のものにす

れ來るのも其前提であ

相の事務は

た。英國館は外相へンダーソン氏と記憶される

東支鐵管理方針 いケロッグ氏の 中央移管は具體化せず

東無調査代表陸事能には東極問題

マン外相巡去に當り外に に常り外に

出来の、若し買收すとせば米國 てゐるされるもので今明言することは れぶるこ

太平洋問題調査會にて

論議される満洲

日本借欵及び請負鐵道概况

別の色を見せず、車中に往訪れ入ったが、氏は長途の旅行に

「四十夜小

游鐵施設は大平

副總裁説明 が疑内説明すべしと 松田拓相の



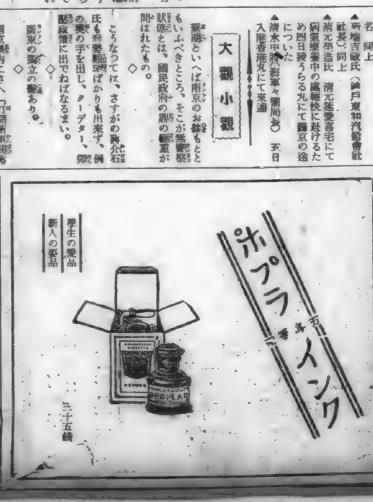
露支問題に不干 奉天南方の 關係は圓滑

の臨南北相提製してゐることはの臨南北相提製してゐることはに敬友會が分裂するやうなことに敬友會想教の急

天師も、野湾持久に徹底を生じ左右南極が利害に合同し、また

で表面に飛び出されとも限らない、風の吹き具合で英色の取出を抜い、 (武脈症) 精後

介石」の爆戦が散る。安慰として南京城内にさへ「打開新武限素 特許ラヂウム温灸治療器(強制)



秋つてゐるがは低け未ど心間であったか。シュウベルト氏が陥時に

ドイッ外相ストレーゼマン氏は三 を推して順足数の度無緩和に致めるドイッ例相ストレーゼマン氏は三 を推して順足数の度無緩和に致め、ドイッ関係能に於ては本日より を決然者保險無対は本日鑑にドイルドイツ関係能に於ては本日より を決然者保險無対は本日鑑にドイルドイン関係を振って明を振って、 失業保險法案 イツ議會通過

ラインランドの撤兵即駆撃決であらうインランドの撤兵即駆撃決でるた。氏に繋外騎係の道を急いであた。氏に繋外騎係の道を急いであた。氏に繋外騎係の道を急いであた。氏に撃が勝係の道を急いであた。氏 シブルゲ大統領は氏に絶 の一再ではなかった。然

不戰條約、撤兵問題等

十日 ばいかる丸だて内地へ九日 旅順巡視

號は米る二十日前後

暦日出帆のうらる丸にて 郷所工育職所親終蘭一行十 郷氏(公使館員) 同上 野郡材木质組合一行十 親所親祭園一行十三 上海公使館財務

特約店 三省洋行 奉天千代田通三十六香地 電話南三茲六香

養鷄飼料粉碎機不到、大學

けふ畏くも御沙汰

髪の御沙汰があつた。 の御沙汰があつた。 の一種の でいた の一種の の一種の でいた の一種の の一種の でいた の一種の の一種の でいた の一で、 の一で

陸上選手權大會 **〜六日午後一時から**

大連運動場で舉行 フイールド(全部決時)砲車フイールド(全部決時)砲車フイールド(全部決時)砲車大投、共構跳、女子定高跳、女子定高跳、女子定高跳、女子を高跳、女子を高跳、女子を高跳、女子を表した。

大麻は行はれることとなったが左 を五日午前九時出發の響であると 定五日午前九時出發の響であると であると であると であると であると 滿洲硬球選手 あす出發

國殉職者追悼會

第三回漢鑑殉職者追悼會は既報の 「時では、大田中町十時より首職理事職」 本設長司會のもとに溝織協和會館 内所職部では、大田中町十時より首職理事職」 本接待委員 木部、宇佐聖、保々 知く八日中町十時より首職理事職 本接待委員 木部、宇佐聖、保々 が執行されることとなった る政権委員 青木建築課長以下三十二名 本政権委員 青木建築課長以下三十二名 の教徒には、大田中町十時より首職理事際 本政権委員 青木建築課長以下三十二名 本政権委員 青木建築課長以下三十二名

次第並に役員顔觸决る

堂宇建立費嵬めに

大道における日安自動車繁変者の大道における日安自動車繁変者のがこれに戦し日本人峰繁栄者は合いこれが利益を設めてあるのに反し、一会を設置に努めてあるのに反し、一

邦人經營漢字紙

不買同盟を畫策

國民黨員が反蔣記事に憤慨

加賀町の火事

半燒して鎭火

率天機道事務所代表。 大連社員代表 - 庶務部全公所代

のんさ佛大

六十翁の行脚

因繰も深い北海道へ

一信講副會長の安部龍良氏

開発学によって配くこれに 関連を設定したり過級来より市内に 等が認定となり過級来より市内に 等が認定となり過級来より市内に 等が認定となり過級来より市内に を以て組合を軽離せんと権々和決 を以て組合を軽離せんと権々和決 を以て組合を軽離せんと権々和決 を以て組合を影響者十九軒的 を以て組合を影響者・ルト間を を以て組合を影響者・ルト間を を以て組合を影響者・ルト間を を以て組合を影響者・ルト間を を以て組合を影響者・ルト間を を以て組合を影響者・ルト間を を以て組合を影響者・ルト間を をいて、これに 利なるため情報して、日本人経営 《古林神館問日歌》目下哈爾賓、

大学が費用の関係で建築されない。 の未だ機像のまゝ風雨に暖される。 建立會ではこれを遺憾される。 を大き砂の目的たる掌字建立に であっるべくとれが駐立費部的と であっため一信書制信息長安部軸及 であっため一信書制信息長安部軸及 である。 間に此職が起り現に其質割書を印 て展るが、吉林に於ても最近黨員 不質同思が實行されるかどうか

が之を實際の上から見

選協会に 市内大神町常安寺では近日午後七時より連勝大師御では近日午後七時より連勝大師御正常忌法要を管み者本主任及び誰の田彦六兩氏の大師に開する法話あ

庭家神各为為。防豫疫

候に付此段に一旦長男弘一儀に

N春日町大蓮寺に於て執行可住候外儀は途中行列を接し五日午後四世上候 でに三日午後六時死去致い一儀病氣の處藥石其効

能人當初の目的たる掌字建立

負傷殉職の警察官 一春來既に引 側く馬匪賊集團の分散期に入り 物騒な關東州内外

も交通事故

の眺感調だしきかを纏ふに足る。

三日午前十時二十五分ごろ大連入の路上に於て古野町二八大連歌便の路上に於て古野町二八大連歌便の路上に於て古野町二八大連歌便の路上に於て古野町二八大連歌便の路上に於て古野町六四指物商近隣 きのふ一件を出す 損害を受けた

あす午前

頭張敷地の許可もあったので

尿庸 淡皮 阪 提 協 西 話 電 横番 潘 =

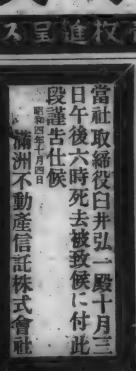
各市場とも近日中に

ロースはもつとまけろと \ 牛肉の値下

電通りであるが態々左の如く一 電通りであるが態々左の如く一 であるが態々左の如く一 市役所が懸命に折衝中

○二 等 ◇二 等 ◇二 等 ◇コー 等 国に取締るべく、自之のみは今別然するが南當局では品質を観 共一所に改正値段により費出す

故田中男追悼音於田中



生活 の見事さ を

総統一千萬間)を競行することと 十一日送歌便局で愛出すと中郷二同間情金附離引動薬価線 (るもので十月二十一日より十一月 復興貯蓄優線の發行は本年限り打 一等三千圃以下多瀬の間増を附す.

日から賣出

した場合は緻南二十四を懐遠し且した場合は緻南二十四を懐遠し上

終点さ

たまっ

けるの秋晴れに

小國民の韋駄天

賑つた小學校の運動會

日本 た少年團生活狀況室

橋校成績品展準備成る

職は今度同行三階を住民付く を製は十五、大あり、実践は普通 とルに製じて成るべく安債に貸付 とルに製じて成るべく安債に貸付 とルに製じて成るべく安債に貸付

謝近火御見舞 湖近火御見舞

會社を組織

タクシー

に對抗

市内十數軒の支那人營業者が

愈よ近く實現せん

謝近火御見舞 商

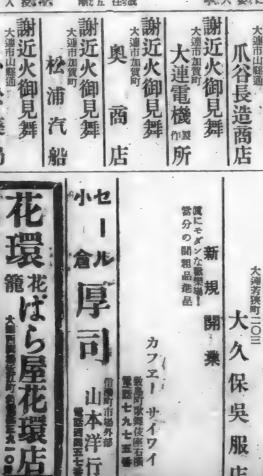
大増加しつ」ある

では四月から谷野部とも後期の授 が、電路科、日富科・一大連路野村 教名ある由、向この際英語科、金 教名ある由、向この際英語科、金 教名ある由、向この際英語科、金 を附可すると のの際英語科、変 が関係に動し若代名の命継入 沙湖山 松 藥 局

一 大連案内所でも御利用下さい

阁下の追悼會相管候間御多拜相成度 **追而此所告を以て御通知に代い** 知選生1460 山口縣 人會

元 高発 元 高光 元 高光 元 高光 元 高光 一 元 高光 本願寺に於て故男爵陸軍大將田中義東十月五日(土曜日)午後五時半満草山 以て御通知に代之甲侯 宇候在郷軍人會 宇候在郷軍人會 市聯合分會



謝近火御見舞



類燒御見舞

田十 告 口河 順吉

今岐左肌の者不都合

G.₹ 83.95

要は、これで、三の事業を表現のでは、100mのでは、10

に配慮現物入十三個九十五鏡と密では、1000円 1000円 1000

飼料雜穀類の

運賃復舊を陳情

期に比すればつ

阪神の取引業者より陳情す

数率を期する所域であらう なであると共に在議判商の戦の を関する所域であらう

金利高が問題

B

南満の作況

大體に於て平年作

低溫で收穫は一週間早い

座

-(囘二第催主社本)-

滿洲經濟界

「個へロイン者」 「関係選集 平田職一郎氏 当成別 原田 耕一氏 関係選集 平田職一郎氏 本品収別 原田 耕一氏 工品収別 原田 耕一氏 本品収別 原田 耕一氏

での御感理を各位から腹級なく 物態らしを願ひ度い 病病 か () 一を が 多要だ、 即ち合理 が の () では 海州へ ないと思ぶ、 ずうこの () では 海州へ では 海州へ では 高州 へ () では 一を () では 関連のは、いろくく組織も減り を表に及ばす影響を以て臨かべきでは金解禁間軸に直面し、果しては金解禁間軸に直面し、果しては金解禁間軸に直面し、果しては金解禁の満洲経済 がある態度を以て臨かべきで がある。さて、いろくく組織も減り

所澤。銀市場は風のフラッテイシー のは我々線約率者だ、即ち大連 のは我々線約率者だ、即ち大連 です

銀市場方面はいと思ふ て緊張的を改めるの外はあるま 銀査方面はどり

相場の入電も減じて市場は開放 動は日々壁跡するが侵戦一回位 の入電では常市場の歩み取削 の入電では常市場の歩み取削 を摂びになった。 が続眠壊相 が、故にこの際。 これに書へる に何か他の上場物件を増すか何 らか相當の鉄策を調ずる必要が あらりと思ふ。

其 他本社 記者大連問題山中岩次郎氏正應銀行山本豐吉氏工產銀行山本豐吉氏

の影響と對策 つた

常局を訪問し同様無きの障害を行った。大学に開東州母別権入職合会でも之に呼騰し四日陽東艦及び清鐘を之に呼騰し四日陽東艦及び清鐘を力に開東州母別権入職合会でも、大学に開東州母別権入職合会でも、大学に対して、 賣上激塩 魚市場の

ものと見て大空なかる で無端に恐怖するの必 で無端に恐怖するの必 で無端に恐怖するの必 で無端に恐怖するの必 でに三ヶ年と云ふずだ うく剛足の緊張を促す まい。私は精々助極時 まい。私は精々助極限 って居る。道別でも既 されて居る。道別でも既 されて居る。道別でも既

一人

一言

ずるやうなことになるだの時期に盛り返へしの可

况

第の湯州経済界に及ぼす影 佐藤 至誠氏

任務協議

関 「東京四日愛電」井上戦相雷田理 「東京四日愛電」井上戦相雷田理 「大津島球務官は一日午後約三 特別に対る解禁實施に際しての 「大津島球務官は本る二十日過渡 大藏省で

樺太進出

問題懇談

田 中における鮮内像人の外園園は公 一千二百園で斤敷は例年同期と略 一千二百園で斤敷は例年同期と略 である

水理會試取締役高田友吉氏は四日水理會試取締役高田友吉氏は四日温度順に韓田水産會長を説問し同社の水産會合併問題に敢き種々既

九月手形交換高

金勘定は枚數減じて金額増 銀勘定は枚數増して金額減

成績不良

○現物前場(銀書)
○現物前場(銀書)
○現物前場(銀書)
○現物 古 大 引 大豆(裸物 一) 七二〇 七二〇 七二〇 七二〇 七二〇

完美大 1 岩岩 引

前四

オヴベ ● 五三一十十現 ● 棉 ムローカー 月月月月月初端 様 ラテル M

度使へ うと

11



好此动化

7程

कं

第 元枚 三、至0、四八型 日) 于形交换高(四 日) 貯蓄。债券 上海為替情報 場(四二二兩五四二二兩五四二二三兩五四二二三兩五四二二三兩五

三 即ち編中七十二州二位七分の採集 をなり書地書申は大陸七十二州三 がなに低数す可き幣となって居るから上海がは七十二州二処との中盤即ち七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と七十二州三人と「大」といったのである。 八十三編五十鏡で費却するの外なく選甲七十二隔五気で費つては僅かに一気五分の利益しかなくなった事となり他方三日朝上海に於ける大湖向部替寄付八十六兩二分の一見書の入報があり。鍵勢市場は八十三属五十五饒見留保合なりしを以て「14 * * 20.00 * 30.00 *



·手にされた何人も首背する事と確信する。乞ふ刮目して待たれよ! | 度を實現すべく努力せる本篇が如何に驚異すべき内容を有するかは、一度| |佐藤各教授、石原、佐々木兩學士其他各執筆者が現代に於ける出版的理想の

小川、脇水、石橋、喜田各博士、田中子街、今野、

田四三三三

亲

の印刷見本を添附せる堂々三十他各執筆者の『東海地方篇』本文 內容見本 121110 脇水、石橋各博士を初め 臺朝 及南

本卷に限

进萬次郎

關東北部及與羽 東京及その附近 論(人文) 第五郎

9

海道及棒

8

北九中近

都市は何故に此處に發達し將來はどうなるか。其他產如何にして出來、如何にして此奇觀を呈するに至つたか 食住、風俗習慣は勿論、山川、淵海、都市、田園、建築等に至るまで從來漫然さして眺めてゐたに過ぎない我國獨特の地理的現象は政治、近せる寫眞と相俟ち、現代日本のあるが儘の姿こその由つて來る所を活 之を推學する次第である。 學は我等に「如何にして」と「何故」こを要求する。 を推擧する次第である。敢て大方の淸鑑を待つ此種出版物には多大の經驗を有するもの、これ にして出來、如何にして此奇觀を呈するに至つたか。又此處に我等に「如何にして」と「何故」とを要求する。即ち此處に一單なる寫眞の羅列のみを以て能事とする舊式地理學の時代は 者この畢生の努力になり で、學界權威者を網切の地理的現象を分 至つたかを闡明す **八の經驗を有するもの、これ我等が十二分の自信曩に我等は「世界地理風俗大系」全十四卷刊行、嘗て我等の體驗しなかつた地理學的興味は新** たる本 せる編輯委員諸氏と、 解剖し、之に極めて興味あ本大系は此新興地理學の命 その指導に 其他産業に風俗にその より弊社

特設寫 ・に・一・は・一・の・過 さい 変像 一圏 平线を 解本 子書歌集のおもか 一頭五銭送料

地理風俗大系」姉妹篇と

普通学生・画體の部 一食付宿泊料の部一三回至銭以上部屋代の部一三回至銭以上 廢止 電話四七六七番へ不配達其他の故障 大勉强 屋 (三食付二圓) **建筑** 旅館







全

論(地文)

編輯委員(五十音順)

談全 生

2

3

4

5

東

海

6

及北

畿

四地

新順者與の細道通知 学等署語字野千代律 学所署語字野千代律 受債・個元餘差署八 受債・個元餘差署八 要債・個元餘差署八

から北陸の遊が良氏別邸に許て開

イギリス政府は宜しく軍備全般 を提唱したが外相よりは更に、類 と処理したが外相よりは更に、類 と処理したが外相よりは更に、類

日支條約交渉は

來八日から開始

南京政府の交渉方針

共同討蔣を勸

陳氏第二次宣言發表

西派に

開院

三總會に御台臨

第二日夜出戦の天津行汽船にて急遽北上した、近く西北方面に動らしき豊信歌らんとするものよ何く直に当めへ引返す」と管報して来た、製氏は北部にある脳液製人と砂管製を勝き停事か織動した総に上来・電三日登 製修芬氏に大で張良誠氏も赤南京に楽り蔣介石氏に体重なきことを整かと保へらて上来・電三日登 製修芬氏に大で張良誠氏も赤南京に楽り蔣介石氏に体重なきことを整かと保へら 南京に特別成嚴令

反蔣各派の策動に備ふ

避難民殺到し

二日の露支衝突で

支那軍四十名負傷

移民適地を調査して

海外移住策を確立

世界各地にわたり選定する

拓務省で豫算計上

【学別里三日梦電】二日の戦闘で一篇支献版は大砲六百五十菱を放ち

利上妥當

東京大会でイングランド 単版まよび一般状欲に関 がなるの如く述べた

ス蔵相の

合は郷軍を支那領に侵入せしめるで交渉が有神に解決不可能なる場

「大学・一年 では、 一年 では、 日本 では、 一年 では、 日本 では、 日本

日午前十時長春神戦国日歌』松田城村は四 ・ 一部、ホテルに聞り正午より官 ・ 大は離上大要左の如き流説を選出し長春城内 ・ 一部、ホテルに聞り正午より官 ・ 一部、ホテルに聞り正午より官 ・ 一部、ホテルに聞り正午より官 ・ 一部、ホテルに聞り正午より官

封鎖さる

日支親善を圖り

廣西派大打擊

長春有志の歡迎會席上で

松田拓相希望を迷ぶ

度動分子は

下移住の前途は難が重要を開から、 東州南洋とも移住が顕立して之が設計に振外 東州南洋とも移住が取れては朝鮮を開からに勝外 かに特別に就いては朝鮮を開かる。 は地域に就いては朝鮮を開かる。 を他もあるのみでありて がで作われている。 で作わり、 ででは、 のでは、 ののでは、 のでは、 のでは、

新き数定め方針である。 たが、夢风遊地は左記各項につき し米年度神算に之が極費を計上し

今回薄鮮、満洲の旅行に際して 各地方とも多大の便宜を與へら れたことは感謝に堪へない、今 である、抑も瀟淵は似薄がから さに観察して置きたい帯やから さに観察して置きたい帯やから である、抑も瀟淵は似薄知の通

日支條約改訂交渉と

南京政府の苦肉策

痛し痒しの排日に據る牽制策

反蔣派は妨害運動

一記して旅遊監査せんとする して今後調査せんとする シベリアに関係者地、ア シベリアに関係者地、ア シベリアに関係者地、ア シベリアに関係者地、ア シベル・南米和 フィップ・ボルネオ、ニ た種々の不安の一切が除た。 に、従来園民政府に禁し で、従来園民政府に禁し で、従来園民政府に禁し

されば霧水石氏およびそ

を中止して、日支交渉の他の各場に関から、野により、 を中止して、日支交渉の他の各場は、 を中止して、日支交渉ののの各場に、 を中止して、日支交渉ののの各場に、 を中止して、日支交渉ののの各場に、 を中止して、日支交渉ののの各場に、 を中止して、日支交渉ののの各場に、 をから、 をから、

からして「は」と言様しめなかった。 でもならば触えの戦外が決しても日本では、 でもならば触えの戦外が決しても日本では、 ならば触えの戦外が決しても日本を収録しやうとした従来の からば触えの戦外が決めては自己の疾的交渉を有利に解決しては、 なるの理に世域観視に関しては日本を収録しやうとした従来の のである。現に世域観点では日本が折した。 のである。ことを自動し、あべるべに比較的には、 を施聞える。現に世域観点では日本が折した。 のである。ことを自動し、あべるべに比較的には、 のである。 のは、 のである。 のと、 のである。 のでは、 のでは、 のである。 のでは、 のでは、

日を使ひたい場合のないのであらうことでは、 本相手に最もよったであることである。ことでは、 本相手に最もよったのであることであらうし、交換の中には既に多数の改組能が入る。 は網民政府自身にとつても自信が、 はのようにの知さに参数の改組能が入る。 はのようにの知さらか。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さにからない。 はのように、の知さには、ことでは、 はのように、の知さには、 はのは、ことであらうし、 ない。 はのように、 ない。 はのように、 ない。 はのまた。 はのまた。

▲ 資配寺域記、国本一兩氏(萬朝 ・ で屋ホテル投宿中のところ四日 で屋ホテル投宿中のところ四日 本社來訪

大学大学 の 大学大学 の 世界 で に を を を を の 世界 で に で た の 通界 で に を が に か で に な が に か で に な が に か で で に な が に か で に な が に か で に な が に か で に な が に か で に な が に か で

一定期後場(用位码) 中本高期近、公司、公司(自己) 中本高期近、公司、公司(自己) 中等中、公司(二八盟)[四三〇 一時中、公司(二八盟)[四三〇 一時中、公司(二八盟)[四三〇 一時中、公司(二八盟)[四三〇 一時中、公司(二八盟)[四三〇 一時中、公司(二八盟)[四三〇 一時中、公司(三四盟) 一方四盟(三四国) 一方四盟(三四国) 一方四盟(三四国)

大野湖口流足 (モスクワ四日強電)外交部委員 代理リトピノフ氏はロンドンで英 にし政府は完全に其の見解を注げ が最善を書くした

強硬態度を持す

政友總裁後任

或は支那領内に侵入

にあり延ひて支那師一戦ラフカの小面人に至るまでは鎖するもの多く比傾向は上海、天津、 鷲口方面の高人から北浦への取引を一時見

滿洲寫眞美術展評

撫順における松田拓相

- 一日炭礦ホテル前の記念撮影

皆ローカル

カラー

【中】

溢れてゐるのを喜ぶ

接近に努む

自分は殆ど太原的りに居つて職務 、氏の抱負の一端は次の如の外遊に就線の上にて南下すい豫定で持続も全く

五臺山に清遊したが、 ない、今次南下赴任の機會に 一と通り見物する考へである。 間合の健康は最近非常に良好で 持病も全く平衡した世間では選氏 の外遊に聞いて種々囃するが自分 が出發する際に馮總司令と一所に が出致する際に馮總司令と一所に 北京天津さ

地方行政長官をして遺伝を以て之なる。故に内政部の軍要機選は全なる。故に内政部の軍要機選は全を前提として法令章程を公布し、を前提として法令章程を公布し、

出來ない、故に登騒は一の自治陸出來ない、故に登騒は一の自治陸 て如何にするが可なるか知る事が を地方電情を知る事は困難であつ と全く接近せなんだ監で中央は一

【京城役】全鮮所業合議に於ける新選州・商業合議が左の如し 提案左の如し

開院宮様より

社會事業獎勵金

各道の團體に下賜さる

日午後八時より朝鮮神宮社務所前 日午後八時より朝鮮神宮社務所前 日午後八時より朝鮮神宮社務所前 式年祭遙拜式 兄城に 於ける

御宿泊所に於て有難きお言葉と共 智に對し一日朝鮮博費會開會式後 「京城設」開院為股下より簡潔認

に社會再業獎勵金として多額の御

一個は式場の中央に設へた七五の能りも神々しく、自命に選は 大高さ五尺の選弄壊に多進し満 を奏上し玉出を奏賞して拝職 と終る。彼いて甕塵總督裁々しく の影響を対策機器で、見玉の影響を対策機器を対象がある。 **貸家** 新島町高等住宅温水暖房 中 下洋間され、大阪和間へ 田部井 下洋間され、大阪和間へ 田部井 下洋間され、大阪和間へ 田部井 下洋間され、大阪和間へ 田部井 下洋間され、大阪和間へ 田部井 下洋間され、大阪本間へ 田部井 下洋間され、大阪本間へ 田部井 田田部井 田田部井 田田部井

州隔離院、釜山共生園

電流に出版するや5二日 電流に出版するや5二日 電流に出版するや5二日 電流に出版するや5二日 電流に出版のでは、 電流に出版のでは、 のでは、 ので

率つて拝護すると共に多列諸員全 の大海火赤々と燃えて南上山頂の 大連美震町九五貯炭湯面監 大連美震町九五貯炭湯面監 大連美震町九五貯炭湯面監 大連美震町九五貯炭湯面監 大連美震町九五貯炭湯面監 大連美震町九五貯炭湯面監 大連美震町九五貯炭湯面監 大連美震町九五貯炭湯面監 大道美震町九五貯炭湯面監 大道美震町九五貯炭湯面監 大道美震町九五貯炭湯面監 大道美震町九五貯炭湯面監

新二丁目 史 惟 記 ・ 代町五番東・膨脹堂大連岩 ・ 代町五番東・膨脹堂大連岩 ・ 代町五番東・膨脹堂大連岩 機鏡なら シ 河岭小岛店

敗極下の関東州に於ける豫備試験文部省第五十一回中等學校教員試

教員檢定の受験者

會議館に於て執行の筈であるがは本月八日から十二日まで觸東

提灯

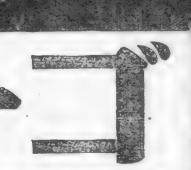
牛乳

精制放場

秋。無。

渡邊商天 電六八四一

等國社會の大變遷ご祖父、 に始り大革命に終つた最近 僅か半世紀の間に農奴解放



まる大人 新

を暗示す 本全集にあ しき文學 しき時代は 八氣は

好評嘖 人 中 注

ラチオ症域式一切百四十圓沿 ミシンと落骨器は 橋河島ミシン店電六六八四 門永洋行

不用品特別品質質

絨毯

和二二三〇三 ・マガタヤ ・アンは、香川商店。電べ七点コーランは、香川商店。電べ七点コーランは、香川商店。電べ七点コーランド

政府と民衆の

りを、その南北統一の箇中に、■一であらう。 し、北万人の思想なり、感情な を發したことを認識せざ を励納的に分析し、事實に反する一分類的、具象的研究が、 必ずしも同一範囲は、思想において

楊內政部長の抱負 も各地に實行する事は出來ない。 が出來なければ如何なる民法理部 が出來なければ如何なる民法理部 自分は内政の自分は内政の

鑛山を採掘し 利權を回收 遼寧農鑛廳の計畫

産の採掘の誤可

上に関す

見版布を禁止する旨

拓鐵敷設促進 旅言・本語を取締る 流言・本語を取締る

進要望の 二日各分局長に命じたと

國慶記念閱兵

電日支那側では北大鷲に於て國際 電日支那側では北大鷲に於て國際 「本天靈」來る十月十日の双十節

貨間

質問 八 縣 來 押 公 行 在 姓 名 在 | 張・田 | 3 名 名 在 性 名 在 性 名 在

チチ モ

古着 御買入報子上 貸衣 紫婚禮用 電六六〇二番

名前 大山道(日本標近) 吉 野 ■ 大山道(日本標近) 吉 野 ■ 日本タイプライタ ● 田巻 印

墓約豫

四名 内容見本進星

台本 | 労農國立出版所 | 最高權威 | 教 | 最高權威 | 教 | 教 | 数 | 表 | 新 | 刊 | 行 の 全 集 |

持主を生んだアルタモ

金 三五電六六六三大連案等公信信劣質量金融

不用 品高 商品 各内 電話質質は正直 のに 電話質質は正直

写真 技師及助于1

女給 入用十八歳より出 一二三名人用本人來 本に 一二三名人用本人來 山通久保田邊科 院電 **社員** 招聘同定給支給

九不山七

大連市大山道 小体又化安库 大連市大山道 小体又化安库 邦文 タイピスト短期養成

田九六化制製 英郷田書寄宿舎有 変邦文タイピスト生紀

英文 自動格保護就

六九二番

第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第二葉町六 モミ 療治御好みの方は 林毒 性睾丸炎 鍼灸

の作。 後の翁の長篇中最も優れた を動画の實行を見た大評判 の作。

キイ評傳

第一回配本長岡義夫譯 目下晒本中

求妻 牧四〇〇外恩給有生 解系系果無塞死別

既に成立一年餘を經過し趙明部長としての抱負に就いては内政部は

推行 持行 權行

古本 高質質

電話

シンガーミシンは常整橋

行電三ル〇三番

ラヂ

頭痛とノ

満日案内

本

(可認物便郵種三第)

北方人の北方

支那革命の實證

滿

洲日報

ららになる。

一切の施設、獣嚢に就い 以内のこと 新聞行敷五十行

開東廳の羊頭狗肉

中央の法令を る。而して民衆と常に対の質量を撃ぐる軍要なる

店員 教

一 田來る店玩具

店員計

フヨウ品 海鷺骨質 マイワキ町 新古雲 電七四三五 強いに家庭向徳用の生漉 酸良の三山島紙 元 活茂洋行紙店

展でなくてはならぬ。 では山西の實験に依り前 では山西の實験に依り前 では山西の實験に依り前 では山西の實験に依り前 軍費流用反對救國基金の

既に決定して居り之れを賦費に中央獲部は躍硬に之に反對して中央獲部は躍硬に之に反對して中央獲部は躍硬に之に反對して、 【大津沙】此程中央政府よ たるとの決議を揺し、 し飽くまで軍費にするなれば 、日倉が働いた数國基金を特別市政府に對し軍費に

会して来た。天津山麓部も此のの被害者氏名を至急報告せよと 女給 さん数名入用本

薬及治療

日二百一番 傳ハリ灸専門療院

八回配本等九卷

がっての古代をでの二十年とれた村田山松野祭官総督所数官が今 た村田山松野祭官総督所数官が今 た村田山松野祭官総督所数官が今

人出所する

政権に一巡査として任官した氏は
で発験した職衆二十餘年教習所に乗り、従来巡査の数割のは
なべるの後は許長も觀察に避ち、

氏の集出になる柔循圏用の風場術がない爲めでは、じてなかつた。

じてなかつた、

だが氏の萬年戦部補は決して手腕

ねばならねだらう。だが期する所思ふ尾羽打枯たみじめな姿であら

で振りである。依然た

政場に一巡査として任富した氏は明治州九年の春三月富時の旅順平

て甘んじてるた

湯州は一の萬年智部補を以

を終り夫々離暦から表も注観してる を終り夫々離暦から決定したので を終り夫々離暦から決定したので の終り夫々離暦があるが、其際一般が最も世を行ふ等であ される模様で推野氏的層を検索、触児婦太郎、 、辨富、入場料一切

連結す、案内者は**即員** 但し團體四十名とな 但し團體四十名とな 月十日、同十五

の何れから推されるものと見られてゐるので結局尾峰氏か有胎をとして最も遊伝のでは局尾峰氏か有胎がならぬので種々論薬

尺八演奏大會 国目は十月十一日迄

黎宗高等小學校議堂に於て開催。秦大會は五日午後六時半から春

會員一行十三名 福支店長 三日 員十五名 三日

两部長 三日朝

院照確女史會費は一圓五十銭である。
明備する事になつたが講師は貞照で毎日午前十時から午後三時までて毎日午前十時から午後三時までで毎日午前十時から午後三時までからからが開びませば、シッ東

中跳、スポンデボール、時合軍、

に於て友人知己を招じ張宴するをして天杯の下賜を受けた津久居をして天杯の下賜を受けた津久居昨秋の御大典に當り産業の功勞者 春に招じ張宴した中田卯 当郎氏 地方委員に當選した中田卯 当郎氏

一二日午後五ヶ五分寅市内若姥町 一に龍に燃え移り火はもるまに延螂 して認に作業工場・堀、倉庫三棚 して認に作業工場・堀、倉庫三棚 ・未敷線百斤僧裕五千圓その も機械等を合して一萬五千餘圓で あるが原因については目下収職中 中 の番目に を煙き間が除の活動により無く七 り、大型・電子 の番目に の名が原因については目下収職中 のるが原因については目下収職中 中 日

(日曜土)

千

1

萬年警部補と云はれた

満洲警察界の名物

警官教育に終始して二十餘年

引退した村田さん

警部に昇進した、警部神伝官以くて今回の退官に當り氏は初め

部において今驛主催で夢集するこ

▲森田前衆議院議長一行四名

=

事内に茶色

巴洋服一着化中の小切ト一時五分着安系線の下り

▲中谷崩東摩鬱粉局長 三日過率

沿線各驛で募集

뽀

百

ホームに下車、出逃への近離銀の 列車で到着停車四分間をアラット 松田拓相は三日十七時二十分特急 松田拓相下 が五日八時より投票開始さり欄をいみでも百額の運動り両をのみでも百額の運動

時四十分頃連山陽附近で縁にて御鮮に向ふ途中二年人の金品を窃取無腰を生れ。西塔一丁■朴利亭

投票日月睫の間に辿りた **齊盛況 會盛況**

當か落か けふ決まる運命 猛烈だつた地委選舉 愈上

を上海が至十一時頃判明すべく悪い。 を上海が至十一時頃判明すべく悪い。 を上海が至十一時頃判明すべく悪い。 を上海が至十一時頃判明すべく悪い。 を上海が至十一時頃判明すべく悪い。 を上海が至十一時頃判明すべく悪い。 を上海が至十一時頃判明すべく悪い。 る數で現れるかは投票締切たる午 郷者の最良の批判が何人に如何な

一方又已を機性にして育んだ子女 東、三男は工事一年長女は嫁し大 男よば、三男は工事一年長女は嫁し大 東、三男は工事一年長女は嫁し大 の道を選 を がが、現工科大學助教授 がが、現工科大學助教授 がが、現工科大學助教授

歌部補主義を率じ来つたものであなり、100円世よりも大事な子で異選即懸氏を免れ飽くまで萬年で異選即懸氏を免れ飽くまで萬年に対している。

警部低官の動のも受けたがその

が散在してゐる

 \Diamond

に開産負傷し故國に建つたの職婦江軍の奉天大會職にの際経江軍の奉天大會職に別はりタロバルキン硫酸郷

秋季大 好天氣に人出が多く 人祭の賑ひ

をひき花蝋 関船をや珍奇なる玩は店でに店頭・総合なる玩は店でに店頭・総合なる玩は店では、 の如く、老器男女のそよろがきす るもの多く全市の人は皆お祭り氣 中谷警務局長

不足の大きけりのできた。

松田拓相教迎

青年順では三日午後入時から管理に於て臨時役職會を開き今後

六六十五八

一五五一一四四三 一五五二カカート 一五五二カート

ののの 最近 西西四西 の大学 大西四西

"Ш

での勢揃いでの勢揃い。 頭一點を先取して優勢をら試合を開始したるが、

の三回義で一事三島が

約七百倉場に溢れるが

特合演習

野メムバー

84236591志村

長春乘馬俱樂部遠乘會

非常な接戦 過・順名で数月前入院裏ら 過・順名で数月前入院裏ら がとなつてゐたのに、一日 びとなつてゐたのに、一日 びとなつてゐたのに、一日 務所経理係長森谷雅長氏が

本は、二日午後七時二十分より振順 ・ 本は、二日午後七時二十分より振順 ・ 本は、一日午後七時二十分より振順 ・ 一野郷長、大林響長、草野局長山 ・ 中野郷長一同を代表して玉 ・ 本を終った。 ・ 中野郷長一同を代表して玉 ・ 本を終った。 ・ 中野郷長一同を代表して玉 ・ 本を終った。 ・ 中野郷長一同を代表して玉 ・ 本を終った。 ・ 本の ・ も

にたける神宮式年御鑑宮透拝

野や家族の絵製等あり感況であった。
一生の一生人力学
や家族の絵製等あり感況であった。
一生の一生人力学

おりますと
日報語は一般にの歌六以上七十名は月の別列車で朝鮮「「監會見要の為」
一の出致的途安東に下車同地見歌七のの場合である。

遷宮祭遙拜式

機關區記念日

回取 0 四 24 加城張劉內矢青吉 青吉酒上坂磯 るたのに其死は一般に借する。 假は二日午後四時共同

體育デー

各學校の競技

俳句大額を獻納鎭江山臨濟寺に

彼岸の中日を期して

生前の鬱を偲ぶ光分なるものがあき漸各地からの帯電山の如く故人 の映畵並に津留海軍大佐の調整常地に開催された三笠 二笠保存寄附募集

優勝歌

寄附金に心臓なく各家庭で庭に離金袋を配付する筈で庭に離金袋を配付する筈で 大橋市の三日豊富であった、全要堂一座に秋柳大道 管はかの四組に分れ午前八時開會 管はかの四組に分れ午前八時開會 であった、まづ中壁校は赤な を整され三十六種に宜つて熟職が であった。まづ中壁校は赤な であった。まづ中壁では赤な であった。まづ中であった。までが であった。までが であった。までが であった。までが であった。までが であった。までが であった。までが であった。までが であった。までが であった。なが である。なが であるが である。なが である。なが でっなが でっなが

安市総は5元は 安市総は5元は、 大型川蔵派寺に低が大駅畝総の批覧 を中であったが、比程峻成したるを 以て秋の彼岸の中日を脚し目出度 を終った、筆者は米山根宮氏 にして出句者の吟詠は左の如くで

始め所賢十餘名は三日同地に出張を真選擧のため川崎地方再務所長

松田拓相通過

スポンヂ野球沢路

勝取

凼

「千五百米メドレーリレー」等が ・青和百〇二點白組百〇一點位に一 ・自組最も服务で大装廠を演じたが ・自組最も服务で大装廠を演じたが ・自組最も服务で大装廠を演じたが ・自組最も服务で大装廠を演じたが ・自組最も服务で大装廠を演じたが ・自組最も服务で大装廠を演じたが

本1百米画田(昇)二十四秒五三 本二百米画田(昇)二十四秒五三 本四百米非上五十七秒五二本八 百米日高二十一秒五一 高女鵬は午前八時件より八木校長 の開曾の辞につぎ優勝族返還式あ の開音の辞につぎ優勝族返還式あ で校長の手より白班 慶勝旗を授 いたが良ったが白七十八監打 一二覧にて白班勝ち午後四時半 一二覧にて白班勝ち午後四時半 山の寺御僧に侍する凉哉東州

野遊やいつの間にや

相敷や泊り代克の夕 ていかれ噴水の側 雅煙雅・多色、 ら午後三時

を受ける。 をできる。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 をできる。 を受ける。 をできる。 を受ける。 をできる。 をでする。

は成の地から出たり雪解除 は成の地から出たり雪解除 面白き忘れ扇の一句かな 面白き忘れ扇の一句かな でリナレの見ゆる御川の櫻哉 野 柳 野 柳 雪 巻 紫

火蓋を切つた スポンヂ野球會 第一回戦に實業A勝つ Щ

銀漢や鴨緑江と相映す

落葉橋ふて出て來る

水を掏

堂

中へないのである。中でである。日本のでは、日本の

長春戦、吉星、吉敦州線を観察、応到着した田原旅游省書記官は水を田原旅游省書記官は水を日本の上の日八時三十五分

電流は八日來長で自

前海金剛を懸光し、十日十九時十分京元線で京城に向い帰前等旅館を開発して十二日十時三十分安東西部の密

内地部既及び南支方面に於ける給 も之を以て総局と見るべく原料大 豆も品切れとなった爲め支那様の がまでは此の優推移するの外はあ

オポンチ野球市中軍優勝 建備委員 建備委員 一〇票 本石伊之助 一三票 孫 最 和 一〇票 本石伊之助

全開原スポンデ野練リーグ戦は既 中の職がものようの戦がものなり、「高齢性力が、 一世が一般が、一世地方がの戦がものであり、「高齢性力が、 一世地方がの戦がものなり、「高齢性力をなり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」となり、「高齢性力」という。「高神力」という。「高神力」という。「高神力」という。「高神力」という。「高神力」という。「高神力」という。「高神力」というものもの。「高神力」という。「高神力」はいうものもの。「高神力

京城に遠征

中乳販賣の鴨江牧場は今回乳牛十年乳販賣の鴨江牧場は今回乳牛十一年乳販賣の鴨江牧場は今回乳牛十月空には勝安の豫定で、現在市場質定には勝安の豫定で、現在市場質には完成するので大々的に飛躍をには完成するので大々的に飛躍を

全長衛野珠選手十三名は本年最後の鉄道戦たる全京城軍との試合に に向ふー行十三名

職主総千本木语子女史、三日午後 二時から満鍋桝戦県樂部で守屋女 文は「婦人運動の観前の緑粉」千本木女史は「日本の際來に致する 「日本の際來に致する 来たる六日には同所に於て慰見會 ・主態の講演に認むと 斯主統千本本海子女史又三日午後 新線沿級各地を旅行中の婦人編風 新線沿級各地を旅行中の婦人編風

賣れ口が悪い

細んでるたが、時

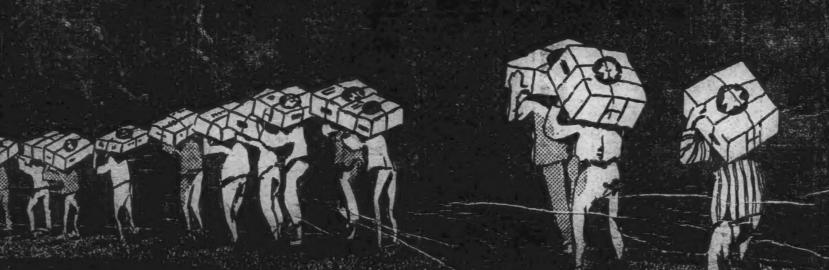
原

十五分長春愛同日午後入時五十五 でに人歌を纏めて九日午前入時二 でに人歌を纏めて九日午前入時二 でに人歌を纏めて九日午前入時二 でに人歌を纏めて九日午前入時二

(=)

成風堂々とく多の全國市場の風堂女

多物が活動が



ひがんでゐたので少しも先生にな ましたが、彼夫は、心がすつかり 先生は色々とやさしくして下さい に買つて下さいとは言へなかつた るので、使夫はとても、お母さん

のでした。

んなに宅い思ひをしたか知れない俊天は今までそれが無かつた爲と

を一種買って敷いたことでした てゐるのと同じ、立派な手工道

のでしたが、一種三國人士錢もす

(優等生にならなけりや 頭をして聞る様にしようね。早 いけな

先生はかう言ふと後天は紫外感し

つきりした返事が非常に蘇しく膨

(日下土) 日はい

校の聞りに、先生の述へ寄つて、 程、親切に数へいたわつてやりま使夫のさらいふ様子を見れば見る つて來ましたので或日 「上野君、君、これから毎日、歌 よくなりません。 先生は心臓にな た。然し、俊夫の成績は少しも きませんでした。然し先生は、 を握つて考へて居り

時は先生が彼から 落ちついて来て、今日智つた計り 「ホラ、何か三角形の面機を出す も落ち着かないで、解らなさうな を使へばすぐに出來るし と言ひます。すると、 を言はれた後天は、ふるへる手で 本中帳面を、自茶芳茶にしまひ込

ふしぎな

家を出ました。

「先生四八平万米突です」 の公式が思ひ出されて、 後夫の心は

引力によって

祝しそうな俊天の顔にも可愛らします。からいふ様に出来る日は、 先生は喜んで又、次の問題を出し

はしたの概述に弘力のあることを知り ましたの概述の理解をならつての ましたの概述の理解をならつての であることを知り し地様の歌され二部になったとしったり物の歌さは引力によっても 物の日方は決して常に一 あるものではありません。 をりますから一貫目のものは念に 二十七貫の重さになるわけです。 たったいました。 者しこ」に随裏の十貫の人かある。 とすればその人は太陽の上では二 の上では二 から私ともが者し太陽の上では二 の上では二 たと假定すると地球の上では手足 上にあるときの二十七倍だけ重く

さな家の屋根に飛び上る位は何で

大鹰場小學校

久保志

なりますのだから普通の人でも小

態の六儲の四十八

観戒べることに

護題が月の世界に行つたならば入

指揮の浦で入艘飛びをした

飛び上る

ことが出來るの

なに愉快でせられえる 思ひ切りジャンプをやったらど

. .

見童の作

13

かなしい一

大廣縣接四年

策さになります 取さになります。ですから大きさ 自方がその風の大きによって變う はかつたと べて見ますと太陽の上では地球、地球の上 と太陽の上とを と、一意気のものは二質日の、 しますと同じものでも でしまふでせる。これは太陽に旅 でしまふでせる。これは太陽に旅 な。いやく一恐らく立つてゐることともできなくなつてしまふでせ かなつて思ふやうに手足を眺かす 一向平無であつたのが。

月の世界。 に旅行したとし、集の時はお母さんもお父さんも 塚とりずつと小さい

八月五日はねえさんのめい日で眺

オンラ ヨンデキマス **ギャナガラ** ら本立て動作り締めた。 は概を作った。上手には

対機再び來らず

ィ 月 十

日人

大日本雄辯會講談社

セ ウマセ

ウンカ

ガ

2

フシュノ

新らしい洋服を滑て、新らしい靴の薄い更服の代りに、温かさらな 話 先生の家に留つて勉強しました。 それから俊夫は毎日昼校の幅りに

先生はそ

マシタの大チャンモ

「ダレダツ!」

コエデ

ツテヰルヤウデス

テッパウニ

ニド

大チャン

Jタンケン

9

ラ

13

11

11

チ作

(六)

だした。 ちひしようね。さあ、底邊が十二 をで高さが八米突の三角形の面 米突で高さが八米突の三角形の面 からして、帳面に聞を書 になりと、ひどく俊夫を叱りつらつかりと、ひどく俊夫を叱りつ 朝から繋があつて、頭が痛くて、 使夫は、成績がよくなりました。 あわて出しました。その日先生は 所が或日、三つ出された問題が、 の笑顔が自分の事の様に感じくて いくら考へて本出來ず、優夫は又 い笑ひが見えるのでする いしてあたので、つ

後夫はじつと総館一町日まで必らず惹へておけ」

五

夫はたいへん嬉しく思ひましたがですったものでありました。後

をはいて居りました。

B

既に掘しかつたのは、

みんなが持

いて渡します。

積は? 先生は、

晴

面白いお天氣の見方

◆離が思ひ出したやうに、にはかにおへやの中をかけまはつたり 「ならる」 「ならればいったりするとお天気が乗ります。晴れた日ならる。 くる日は曇か腕、腕の日なら叫日は天気。 「なったりするとお天気が乗ります。晴れた日ならる。 「ならればいったりするとお天気が乗ります。晴れた日ならる。 「なったがでると明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変のなが黄色ならば明日はお天気。」 「なったが変しならば明日はお天気。」 「なったが変しならば明日はお天気。」 やうな見方で明日のお天気を着へると中々よくあたります。下駄を放りなげて占なったお天気は中々あたらないが次に書いた

今月のかさが大きければ雨が近く水さければ二、三日の中に雨が

トルの高さを飛ぶことの出来る人 人がたつた一貫になつて での重さの六分の一になつてしま べると小さく月の上では地球の上 たらどうでせる。月は地球にくら 地球の上で六貫の しまふわ はねえさんの一

う館は 九時状頃すみましたが、きまだ後に色々ありましたが、き しくてかなしくてたま はねえさんの一戳すきな「主よみつぎは先生のお話かあつて、今度 官の時はん りませんで

るの僕は其の時とて してゐる。カンナなど くまれるとしとてもよ あけて見ると皆よくき にはなみだがうるんで

つたので、僕は前に出ると大きなさつをするのですよ」とおつしや 井先生をすましてるら ごあいさつをしました。 と名で「いらつしやい したが、きらにおわら 「おきやく標の前に出

かんかんかんと七時の いよくくからきとう

を思ひ出してるました 僕は其の時心にはねえ 一とう始めにさんびか

それがすむとおいのり

ねえさ なつたでせら したい 大工道具 んはどんなにお

新。來。

治語の

貞雄 て美塵桜に在って手工をかつた。それから摩板が 手でさはつてもきれさ の所に置いてわたの戦目をさまし 僕は大工道具をお母さ らった。僕は大よろこびで持つて

それからお母さんんが カコ

ペルヤ ウナコ 圖 体践も一般と土品に風雅にし、良い松を御提供致します こんな面白い全集はない 愉快の大王! 其の上安い本・ 義理人情がわかり常識も得られる 一家中楽しめる笑の實庫

到るとこ 非常な評

申込殺到!!

日本生粹の滑稽文學大全集! で優たもので、時代に適 頁

作落語悉 型行流向度年四和昭 百 聞 斯界 0 革 命 兒 革命靴現る 皆さんの梅本が くべき良品販価、質に事命的適品を發電年の御愛顧に報ゆる一端としまして此度 **%店**

鲜满總代理店 餘战 進 御一報次第型 錄進星可 首和

高砂工業會社製 胎兒の榮養に任ず。生起すべき諸種の障害を防護し、且つ生起すべき諸種の障害を防護し、且つ **發賣元** "大阪道修町,和田卯助商店 のために
片瀬醫學博士鑑査



が勝べ

しす

一人深を強い、非優勝西本願寺も一人深を譲い、非優勝者で立起の輸中なく最外に溢れてゐる、式は腰寺の神景のでは、非優勝西本願寺

起訴か

昭和四年十月五日(土曜日) 自午前十一時 相場(特産、鏡鈔、株式、各地 相場) 日年後等時三十分

山檢事正の意見強硬

で故郷魏の初七日の法要を盛む事は明五日午町十時より野地本願寺

券品商

出家プピの話に青い鳥子供

警視總監

カラデス

吉田殉職巡查部長

に送るも悲し

きのふ盛儀を極めた大連署葬

會葬者千名に達す

御命名の御儀

六日宮城にて御奉行

「東京三月後東」来る六日行はせらる、新皇女機関会を経営 は今回艦めて宮城で御奉行になるのであるが、當日是くも是 は今回艦めて宮城で御奉行になるのであるが、當日是くも是 原取下には御殿獲順出され始つて御命名報告の儀には特に女 原取下には御殿獲順出され始つて御命名報告の儀には特に女

日午後三は三十分から検索さ 百五十の不論は場外を埋めてるる 章、および飛輪、質貝の原志を建 14の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西城に大いで機等委員長高 し、安書課。、中谷養婦局長へ田・一根の西太郎寺で行はれた。こ 何間の西城に大いで機等委員長高 し、東京の職を建 1800年 1800年

に實用化したものといはれてゐる。例外を年の成成版である。例外を年の成就の路も大阪

航空郵便漸換

定程なる

トイツ選手は十八日に奉天に到差 人獨競技 協調 想より

ではよいわけだから難だとは思っ であましたであました。 大江満鎌東 楽晴しいハシヤギ振りであつたのと話してゐるうちに、入江満鎌東 楽晴しいハシヤギ振りであつたの情景方に現書へてあました。

で、 大大氏が振力動力の結果、 大し豫定通り奉天で來る二 大し豫に通り奉天で來る二 大し豫に通り奉天で來る二

本天日獨 美技の

沸き返る山田市 陸續こ内宮へ初詣り がは例れ返るばかりの際戦気分に

大學一

のかく内容が前に足を選ぶ、午後の鑑官を終へた今三日は朝来初のの選官を終へた今三日は朝来初のの選官を終へた今三日は朝来初のの

三日の船で百八十



あるが、同日ます。 株を調査し且つこれが安渉につき 業天体局と協議することにある、 業大体局と協議することにある。 ・ 対しをに置することにある。 「北平無電回日を」本日正午水平 数は書房四百二十八通、集通百人 りた外交部重細亜局長馬龍光氏は 十八通、印刷物等六通、計六百二 りた外交部重細亜局長馬龍光氏は 十八通、印刷物等六通、計六百二 が、同氏赴率の低溶は横線等 増加の保険にあると

東京三日發表」 原東京三日發表」 の多数で何れを外域品であり一ケ 年には相常多額を此の舞め悪外に 安機つてゐるので今回江本機相の 安機で外層品に劣ら以正確な日本 時間があつたら今後日本時間を使 はうと云ふことになり試験を行つ た場日本数まを全く外園品に劣らぬ

のうち實際運航阻構は四十七六十二萬七千百五十十日メー 京四日要電』本年四月一日か 野際運航医療・半四月一日か ・大十キロメートルで約5年に 大十キロメートルで約5年に ・大十キロメートルで約5年に ・大十年に 問題代子戸葉を見く (廣告) 川立蔵で郷郷主、四十六歳で東 川立蔵で郷郷主、四十六歳で東 川立蔵で郷郷主、四十六歳で東

史が理博に

背廣二ツ柳(ヨージ)三十二圓均

生活の改善は先づ服装から

◎◎英斷

冬服御用意の季節に際し平價を破つて

の此の観賣を御利用下さいませ

(掛賣一切御断り申ます)

大連市

職を行ふこといなった ベスト視察 とを確め得て膨大時間の国産業 四洮沿線の

初代説教強盗

■ 国東京四日養職終総辦盗職として会 他を襲った裁判務監嗣結系之助へ。

日井鶴吉

榊塚方木陽阪山

商支商洋商商商洋

店店行行店會行 店

斷

上海の患突も難と総理するに至ったので今迄微便してみた上海愛の たので今迄微便してみた上海愛の によりを受いった。 によりを使を

時計の

し繁竹林磯町も昔日の酸脳を見るに決し之にて三年間全く閑骸なり

物便を 廢止

天

富

鐵嶺事件

調査が

沙が 目的

起奉する周龍光氏

製造發賣元

小 林 秀

話船

九

行

四商

→店

船場四九二丁目四六

横濱に入港

小職校はコレラの貸め登校するも 難にではコレラ難転し仲間者職人 の場合に及び同村 ではコレラ難転し仲間者職人

コレラ蔓延

七A對六で

帝大惜敗

口 に就

THE STATE OF

券品商 一金五圓也 一金拾圓 御座いますの御便利を計べて一册にしてで三 小形商品券 上手な御買物 はアナタお 人のお徳です 五步引 卷五七三四話團

し版は 用意 では 関節 東京 日 を では 関節 東京 日 見 変 に は 対 明 中 に 数 中 に 数 中 に 数 中 に 数 中 に 数 中 に 数 中 に 数 中 に 数 中 に 数 を を か に な と な に 数 を を か に な と さ に か の た も ら と さ に か の 性 の か に な か ら に か か に な か ら に か か に な か ら と さ に か が の 性 が か に と と で 変 が で と さ に か い か ら に か ら

更に進展

今囘左の通り變更致しま

語音器

秋山商會洋服部 **科** 内 素 科 兒 小

醫井幡 鱼車電町渡信市連大 番九五八四話電

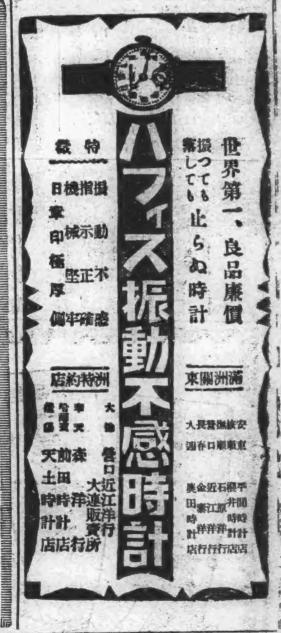
天がらの天がらの大が記事が富田の大がいる。 樱 正 宗 《英出村》 金式

保行

御中食野一聯金 N. CONCERT 4







有限公司

型 但报 間 順江 川日本郵船

〇大連汽船

生殖器障碍

泌尿器病

青馬上海行

性病物各米点

電話五二六 日

臨院

皮

沙河口切符設置所大山通り切符設置の 國際運輸辦式

紙の 田 醫 四 5-

大阪行うはない神

咽

澤